皇朝律例彙纂

近藤圭造編著

卷四

ヲ 13
6431
5

門 ウ13
6431
5
巻

皇朝律例彙纂巻四目録

人命律上 計一十條

謀殺

謀殺本屬長官

謀殺祖父母

謀殺家長

殺死姦夫

殺一家三人

魘魅人

毒藥殺人

鬬毆及故殺

皇朝律例彙纂巻四目録

人命律 計四十八條

謀殺 五條

謀殺官吏 三條

謀殺祖父母父母 一條

殺死姦夫 四條

殺一家三人 一條

毒藥殺人 一條

鬬毆及故殺 五條

昭和十七年十一月二十六日購求

屏去服食
人命律下 計一十六條
戲殺傷人
誤殺傍人
詐稱殺人
過失殺傷人
毆死有罪妻妾
殺奴婢
將屍圖賴
弓銃殺傷人
車馬殺傷人

屏去服食 一條
過失殺傷人 二條
毆死有罪妻妾 一條
殺雇人 二條
將屍圖賴 一條
弓銃殺傷人 三條
車馬殺傷人 二條

庸醫殺傷人
威逼致死
瘋癲殺人
謀同死
私和人命
移地界內死屍
同行知有謀害
鬪毆律 計一十四條
鬪毆
官殿內忿爭
毆本屬長官

瘋癲殺人 六條
謀同死 二條
私和人命 一條
移地界內死屍 六條
同行知有謀害 一條
鬪毆律 計二十六條
鬪毆 七條
宮殿內忿爭 一條
毆官吏 三條

拒毆官司差人
毆受業師
威力制縛
毆家長
毆夫
毆傷妻妾
毆三等親以下尊長
毆二等親尊長
毆祖父母父母
妻妾與夫親屬相毆
父祖被毆

毆受業師 一條
毆家長 二條
毆夫 一條
毆傷妻妾 一條
毆三等親以下尊長 二條
毆二等親尊長 二條
毆祖父母父母 三條
妻妾與夫親屬相毆 一條
父祖被毆 二條

○磐前縣伺七年二月三日指令

人命律、人ヲ謀殺スル者斬ノ、處、該犯ノ毒殺ヲ起意スルヤ、其母曾テ姦夫アリ、已ニ拒絶スルノ後、艶書ヲ贈リ、共ニ逃走センコヲ促シ、若シ同意セサレハ、殺害スヘキノ丈アリ、該犯之ヲ憂テ、父ニ謀ル、父怒テ其事アレハ、姦夫ト母ト俱ニ殺戮ヲ加フルノ言アリ、是ニ於テ、母ノ進退、三ツナカラ生路ナシ、由テ親子ノ至情、止ムヿヲ得ス、毒殺ヲ謀ルニ至ル、尋常ノ謀殺ニ擬スヘカラス、依テ事情ヲ酌量シ、本罪ニ二等ヲ減ス、

懲役三年

犯罪三流一減改正ノ前ニ在ルヲ以テ、本議ノ如シ、

同律 人ヲ謀殺スル、従ニシテ加功セサル者ヲ以テ論シ、

根本寅吉

皇朝律例彙纂卷四

三河近藤圭造編著

人命律上

人殺シノ謀殺ナリ。

凡人ヲ謀殺（或ハ心ニ謀リ。或ハ人ニ謀スルノ別アレトモ。コヽニハ人ニ謀ルヲ云フ。）スル者（手ヲ下シタル者ヨリ。一等ヲ減セリ。）ハ。流

造意者ハ。斬。従ニシテ。加功スル者ハ。絞。加功セサル者ハ。

義妹ニ姦スルノ罪ハ輕
論セス、同母異父姉妹ヲ姦
犯姦律ニ
スル者ヲ以テ論シ、近内イサ
懲役一年
同律和姦夫アル者、根本ナカ
同律

○東京裁判所伺
同人松本多三郎儀ハ、謀殺
未行ノ者ト雖モ、同罪再犯
ヲ以テ、本罪加等スヘキ者
ニモ有之哉、罪案之畧相添、此
段奉伺候也、

七年三月廿九日指令
本律條例凡人ヲ殺シト謀
リ、未タ行ハスト雖、謀狀顯跡
アル者ノ首、田中伊之助
加役百日
同上ノ従
同五十日
同因ノ謀殺ヲ企ルノ罪、其原
由、該犯兩度ノ朝弄ニ起ル松本多三郎

者ハ流三等。加功セサル者ハ。徒三年。

若シ謀テ已ニ行フ（最早手下タレ。）ハ。未タレ。雖モ。未ダ傷モ（ト）サルヲ云フ。人ヲ傷セサル造意者ハ。徒三年。従ハ。同ク行ハスト雖モ。杖一百。

其造意者（已ニ行ヒタルト。人ヲ傷ツケタル者ト。）ハ。殺シタル者ト。三件ヲ兼ル。並ニ身行ハスト雖モ。仍ホ首ト為シテ論ス。従ニシテ行ハサ

懲役十年ノ處、該犯毒藥ヲ以テ殺ニ係ルト雖モ、姦情確實ナルニ依リ、殺死姦夫條例、鬪毆ニ依リ、二等ヲ減スルノ權衡

該犯、親屬交友ノ間、事義忽ニ係ルヲ以テ、根本十平ト同ク擬スヘカラス、鬪毆、余人ヲ以テ論シ、

同二年半根本十平

同九十日存命ナレハ同九十日根本彦藏

該犯ノ毒ヲ施スヤ、機ニ乘シテ殺害シ、別ニ求爲スル處（曾テ寅吉ニ緣組アリシ妹ニ通セリ、此功ヲ以テ先約寅吉ニ嫁セシメントス、）アルヲ以テ、比擬シテ、減本犯根本寅吉ニ

大内茂十等ヘカラス、

同律人ヲ謀殺スル、從論シ、

存命ナレハ絞罪近内忠藏

三等。

若シ傷シテ死セサル造意者ハ。絞。従ニシテ。加功スル

心ニ謀ルヲ情事ニ出テ顯ハ。知ルヘキ様ナ。痕ヲ見テ。毒藥ニ。符セ。據レバ。或ハ。傷ツケタル。時ハ。杯ニ。用ヒタル器ニ。謀ルヒツ。殺シ。同臨ミ。前ニ。以テ。謀リ。人ヲ。殺サ。ント。ス。故ニ。殺ハ。然ルニ。人ヲ。殺シ。ト。ス。ル。ニ。ハ。造意者ハ。加功。ニ。二人ト。比

以テ、呵責

○京都裁判所　種村辰次郎

本年埼玉裁判所伺

云々、墮胎ヲ首従ト雖モ、其胎子ハ即チ男子ニ似タリ仍ホ私通ハ骨肉ノ者トタル同ク、首従ノ法ニテ身自ラ犯ス同罪ニ通ト御指揮然ル可キ哉

云殺小春ノ定者返答ヨリ墮懐胎ス分ル胎ヲ殺ス者、首従ヲ以テ論シ、一等減シ、懲役二年半ト御指令之アリ、然ニ其男女相謀テ犯ス者、身自ラ犯ス者ヲ以テ論セハ、其謀ヲ生子ヲ殺ス罪ヲ論シ、首従ヲ分タス

擬者ハ吉ヲ埋藏ヲ及ヒ、娩ノ相談ニ上定ヨリ、中揮ニ、定ト處、

シ、懲役三年、定吉ハ本律故殺ニ致シ終ニ期可ニ殺親戚ニ、

懲役三年ニ云々、吉ハ已ニ死ニ

小春ノ懲役二年半ト御指令ヲ減シ、懲役百日ニ従ヲ以テ論シ、一等指揮ス

七年十二月二十二日

尊長ノ卑幼ヲ謀殺スル、罪ハ擬スル、故殺律ノ本法ニ依ト雖モ、同謀者ハ謀殺律ノ別シテ、科斷スル、首従ヲ分ナリ、男女私通、懷胎ヲ墮ス者ヲ以テ論セハ、其謀ヲ生子ヲ殺ス者、仍ホ首従ヲ分タス罪ヲ科シ、其首従ヲ分ク處、墮胎スルヘキ者ハ夕殺ヲ謀テ、後チ終ニ生子ヲ墮胎ヲ殺ス者、首従ヲ論シ、衡ニ可レ有レ之哉、

論セラレ候儀ハ、如何ノ權ヲ

孕ヘキハ勿論ナリ、男女私通、懷胎ノ末、女ノ造意ニ出テ、墮胎スル、同意スル男夫ハ、胎子ト同罪ニ科スル者ハ、本犯ト同罪ニ科スル者ハ、本犯ト同罪ニ科スル者ハ、本犯

山内寅之進儀、明治四年九月廿四日、流三等處斷、舊藩弘前藩ヨリ送致ニ相成居候處、右ハ新律御頒降後、處斷ノ者ニ付、其儘今日至リ候處、先般當縣貫屬士族山田登出訴一件爲ニ取調、少判事大塚正男等出張ノ節、右寅之進ヘ關渉ノ筋有之、曾テ口供擬律案等問合ニ付、舊藩該官取糺候處、別紙之ノ通申出候、然ニ熟考ノ仕候ヘハ、擬律上不的切ノ樣被存候ヘ共、律上不當ノ條無之、難相決候間、此段相伺候也、

八同年一月十日指令

藩ノ重役ヲ謀殺セシテ、未タ行ハス、謀殺ト欲スル者ハ、本條、已ニ行フト雖モ、人命律ニ權衡シ五年、例百六十條ニ權衡シ五年、未タ人ヲ傷セサル造意者、徒三年、例百六十條ニ權衡シ五年、未タ人ヲ傷セサル造意者、徒

第百六十二條　凡人ヲ殺サント謀リ、已ニ行フテ、其人ヲ知覺奔逃（已レサントヲ殺スルヲ覺テ遁隱シ、未タ傷ヲ受ケスト雖モ、失跌（キツ倒レツ）及ヒ墮水等、奔脫

ハ男夫ノ骨肉タルニ依テ然ニ非ス、元特別ノ權衡ナリト心得ヘシ、○大分丈武技藝伺受業師ノ教戒ノ爲、督責スルニアラス、其弟子ヲ毆チ、及其財ヲ盜ミ、又ハ謀殺ヲ以テ論シ、弟子ノ其人ヲ毆、及謀殺ヲ爲スハ、凡人ヲ殺ス者ハ、凡人ニ二等ヲ加ヘ、死ニ依、可然ニ致ス者、凡人各律ニ依テ、儀ニ候哉、七年十二月二十七日指令

受業師ノ教戒ノ爲ニ毆打シ、及ヒ其弟子ハ、凡人ヲ非理ニ毆ル者ハ、其師ノ謀殺ハ、凡人ヲ盜ムメハ、其弟子ノ財物ヲ盜ムメハ、其弟子ノ財物ヲ論シ、其師

等ヲ減シ、杖一百、士族タレハ破廉恥甚ヲ以テ論シ、庶人ハ下スヘキ者ニ付、誣告條、告人ニ反坐スト云ニ依リ、山内寅之ヲ進士族ナラハ、庶人ニ下ス

○為ヲ決ニ止メ、庶人ナラハ杖一百実ニ決スヘシ、其当君及ヒ黒石候ト云シハ、不應ス、

愛知縣伺　節録

尾張國知多郡横須賀村平民白羽正山供私儀元修住居ノ財ノ衛小ハ、從ヒ来ハ以傍ノ伊右衛門ヲ致居候處、壬申三月借ノ村坂伊右衛門ヲ為メ、居宅渡シ、私ハ其門ヲ賣渡シ、住居セシ以来ハ、從ヒ来ハ屋社作詣ノ輩ヨリ減少シ、火ヲ屋社參詣ノ輩ヨリ恐怖サセ、放火シ、屋敷ヲ焼殺シ、秋葉山ノ談話ヲ聞テ、秋葉ノ術ヲ学ヒ、其術ヲ以テ人ヲ誘引シ、今ハ護摩ヲ焚キ火渡リノ術ヲ行ヒ、村邊散歩セント、同道ノ途中、大峰

八年一月二十三日指令
謀殺條
斬罪
人ヲ謀殺スル者
白羽正山

○司法省伺
謀殺本屬長官ノ律ハ、元来
府藩縣ノ為ニ設ケ、其本屬
及ヒ長官ニ非ル者ハ、勅奏依
判ヲ分タス、凡人謀殺ニ諸
ルノ法ニ候處、正院始メ諸律
省ノ官員ヲ、謀殺スルノ律ニ
別ニ無之ニ付、右ニ照擬ス
来候得共、凡人謀殺ニテハ
不都合ニ相見候間、別紙之
通御改正相成度、此段相伺
候也、

五年九月四日御朱書
ノ通、
○同年九月七日、第二百五十
四號御布告

凡吏卒軍民。本屬ノ勅任長官ヲ謀殺スル者。已ニ行フ者ハ。流三等。已ニ傷スル者ハ。斬。已ニ殺ス者ハ。皆梟。若シ奏任長官ヲ謀殺スル者。已ニ行フ者ハ。流二等。已ニ傷スル者ハ。絞。已ニ殺スル者ハ。近親ナル者ト。分チ。項ミタルトキ。謀殺。其傷ノ出来ナレバ。故殺ノ律ニ因テ。科ヲ割付ル。

謀殺本屬長官ヲ

様子故、雙手ヲ後ロニ廻シ、用意ノ繩ニテ縛シ、尚ホ両足ヲ括リ、傍ラノ松杭ニテ、左肩ヲ横腹ヘ掛ケ、殴打セシ處、發聲セシ故、再ヒ殴打セシ右肩ヲ横腹ヘ掛ケ、殴打セシ處、絶命ノ体ニ付、両手ヲ縄ヲ解キ合掌サセ、四體ヲ方ニ割木ノ上ニ載セ、猶ホ四方ヲ割木ニ附リケ、安心ノ歸宅セシ重子、火ヲ日ヲ焼死ハ、秋葉ノ罰ト申唱ヘ、且社参モ多クノ相成候故、其虚移リシ乗ト、我身ニ秋葉ノ乗ト申候、其節モ舊額田縣ヘ被捕シ、野狐縛候事情押隠シ、被捕ヲ。殺タル者ハ。捕リ方ヲ。擬テ。殴合フ者ニテ。ヒナシ。攝ト同シ。

第百六十四條　凡嬰児ヲ殺ス者ハ。各等親ニ照シ。謀故殺本條ニ依テ。科断ス。若シ穩婆。囑託ヲ受テ殺ス者ハ。囑託スル者ト。同罪。乳飲子ヲ殺ス者ハ。五等親以上ノ尊長。疎遠

卻テ殺ス者ハ。捕吏拷殺律ニ依リ。論スルヿ勿レ。

問ヲ相成候、免レ被レ誑シ、今般再ヒ御召仕成シ、

第百六十五條　凡勅任官ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者。首ハ懲役十年。從ハ。懲役七年。（綱領ニ。皆ト云フ字ナケレバ。定メモ。ケレバ。分ツベカラザル本文ナリ。）首從ハ分チ難キニ似タリ。依テ首從ノ詳カニ述ブルナリ。已ニ傷スル者。首ハ。斬。從ニシテ。加功スル者ハ。懲役終身。加功セサル者ハ。懲役十年。已ニ殺ス者ハ。皆斬。

謀殺本屬長官律改正

凡勅奏判官吏ヲ殺ス者ハ、凡人謀殺ニ依ル律ヲ改メ、一體ニ本屬勅奏判長官ヲ謀殺スルニ照テ科斷ス、

○同年十一月五日第三百三十二號御布告

謀殺本屬長官、及ヒ毆罵本屬長官之律、改正、

者ハ。皆斬。若シ判任長官ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者ハ。流一等。已ニ傷スル者ハ。絞。已ニ殺ス者ハ。皆斬。其長官。及ヒ本屬ニ非ル者ハ。已ニ殺スト雖モ。凡一人謀殺ニ依リ。首從ヲ分チ。罪ヲ科ス。

謀殺官吏律

原謀殺本屬長官律

若シ奏任官ヲ謀殺スル
ニ。已ニ行フ首ハ。懲役七
年。從ハ懲役五年。已ニ傷
スル者。首ハ。絞。從ニシテ
加功スル者ハ。懲役終身。
加功セサル者ハ。懲役十
年。已ニ殺ス者ハ。皆斬。
若シ判任官ヲ謀殺スル
ニ。已ニ行フ者。首ハ。懲役
五年。從ハ。懲役三年。已ニ
傷スル者。首ハ。絞。從ニシ
テ。加功スル者ハ。懲役終
身。加功セサル者ハ。懲役
十年。已ニ殺ス者ハ。皆斬。

謀殺官吏條例

第百六十六條　凡判任官。
勅任官ヲ謀殺スルニ。已
ニ行フ者。首ハ。懲役七年。
從ハ。懲役五年。已ニ傷ス
ル者。首ハ。絞。從ニシテ加
功スル者ハ。懲役終身。加
功セサル者ハ。懲役五年。

○長野縣伺節録案罪
信濃國更科郡鹽崎村農松
井萬次郎供、私儀家計窮
乏ニ及ヒ、母ミワハ埴科郡
板木村某方ヘ雇ヒ稼キニ
罷越シ、私ハ小縣郡上田町
農山崎袈裟五郎食客ト相
成候處、同人ト組合、料理茶
屋可營ト相談致シ、資金ノ寄
為メ、所持ノ土藏賣却シ、

ルト。罪同シ。其勅任官。奏任官ヲ謀殺シ。及ヒ奏任官。判任官ヲ謀殺スル者ハ。凡一人一謀一殺ヲ以テ論ス。

〔高官ノ者ガ。下官ヲ殺キハ。並ノ人ノ謀殺セルト。同ジ〕ナリ。

謀一殺祖父母父母ヲ

凡祖父母。父母。及ヒ伯叔父。姑。〔ヲチ、方ノヲバ。〕兄。姊。若クハ外祖父母。〔母方ノヲバ。〕夫。夫ノ祖父母。父母。ヲ謀殺スルニ。已

已ニ殺ス者ハ。皆斬。若シ奏任官ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者。首ハ。懲役五年。從ハ。懲役三年。已ニ傷スル者。首ハ。絞。從ニシテ。加功スル者ハ。懲役終身。加功セサル者ハ。懲役五年。已ニ殺ス者ハ。皆斬。

第百六十七條　凡奏任官。勅任官ヲ謀殺スル者ハ。判任官。奏任官ヲ謀殺ス

謀殺祖父母父母條、母ヲ謀殺スル者、梟示

○神奈川裁判所伺　松井萬次郎

武蔵國都筑郡奈良村農某云々、嘗テ父ノ怒ニ觸レ、他家ニ遣リ、雇人トシ、妻ヲモ離別セラレシハ、必竟身ノ不良ヨリトハ申シ乍ラ、其節親属ノ詫入モ聞入サルハ、父ノ心得モ亦不宜トスル、折ニ大醉ニ及ヒ、遺恨ニ堪難ク、忽然殺意ヲ發シ、夜九時父ノ寢所ヘ忍入リ、棒殺ニ及ヒ候云々、

七年七月十四日指令

人命律祖父母ヲ謀殺ス者ニ、已ニ殺ス者、梟示

○三重縣伺　野川安五郎

伊勢國朝明郡某村農内田喜六元来惰弱ノ性質云々、

留証書ヲモ持參可致ト存候ヘ共、私ハ未タ若輩ニ付、云々、土藏賣却承諾致シ候ヘ共、年箇月六ヲ懇談及ヒ候處、一應承諾ナル故、他日高價ノ折ヲ待ナカラ、當時ハ廉價ニ付、畢竟母ノ存在ハ、能ハス、望ヲ遂グルニ付、申聞ケ、何分承引セサルヲ以テ、寧ロ母ヲ死ニ至ラシメハ、惡土藏ヲ起シ、再應熟議ニ相成ント、託シ、二階諸承知ヲ突立テ、尚右項ノ害ヲ顧ミ、母ヲ誘引シ、右土藏ノ承諾ヲ以テ賣却ノ相尋ル候所、不承諾ニ付、帶居候脇差ヲ抜キ、返答ノ胸乳ノ上ニ、倒レシ故、頸ヲ打ヘハ、聲立ヘ咽喉ヘ刺シ貫キ、其他四箇所ヘ切付、殺害ニ行フ者ハ。皆斬。

已ニ殺ス者ハ。皆梟。三等親以下ノ尊長ニ同意シタル者モ。同ジ罪ナリ。

已ニ殺ス者ハ。謀殺スルニ。已ニ行フ者。首ハ。流一等。從ハ。徒三年。已ニ傷スル者。首ハ。絞。從ハ。加功セサル者。並ニ功スル者。加功セサル者。凡一人ト同ク。罪ヲ論ス。已ニ殺ス者ハ。皆斬。

此條ハ。凡テ祖父母以下ニ三等親以下ニ分ツテ分チタル説ニ非ス。

已ニ外祖父母ハ。四等親ナリ。夫ノ祖父母ハ。三等親ナレトモ。祖父母以下ハ。三等親ニ屬タレバ。コノ部ニ入レ難ク酌量シ。律ニ讀下ノ等親以下ノ尊長ニ求ムヘシ。其宜キヲ求ムヘシ。

若シ五等親以上ノ尊長ニ我一門ノ目上ノ人。母方ノ目上ノ人等ヲ云フ。卑幼ノ謀殺スルニ。已ニ行フ者ハ。各鬪毆律内尊長故殺卑幼律ニ依リ。二等ヲ減ス。已ニ傷スル者ハ。一等ヲ減ス。已ニ殺ス者ハ。故殺律ニ依

借錢等アルヲ以テ、兄米藏ヨリ毎々折檻ヲ受ケ、心苦キ餘リ、同人ヲ失ヒナハ、家跡モ續カレ、萬事氣儘ニナルヲ可ク存シ、醉眠ヲ窺ヒ、脇差ニテ咽喉ヲ刺通シ及ニ殺害候、

六年九月八日指令

人命律、兄ヲ謀殺スル者、梟示

内田喜六

○例第九十七條　凡官吏華士族ノ家ニ、給侍役使スル男女ヲ、奴婢ト稱シ、卒庶人ノ家ニ、役使スル者ハ、雇人ト稱スル律ヲ改メ、俱ニ雇人ト稱スモ、其各律ニ分別輕重アル者ハ、皆斬ニ

第百六十八條　凡祖父母。父母。及ヒ伯叔父。姑。兄。姊。若クハ外祖父母。夫。夫ノ祖父母。父母ヲ謀殺スル。已ニ行フ者ハ。皆斬ニ處スル律ヲ改メ。皆絞。

謀殺祖父母父母條例

凡奴婢。家長ヲ謀殺スル。已ニ行フ者ハ。流三等。已ニ

一躰ニ雇人ノ權衡ニ從ヒ、科斷ス、

○京都裁判所伺七年二月三日指令

家令家扶番頭手代ノ類ハ、同居各居ニ論ナク、雇人ヲ以テ、處分スヘシ、

傷スル者ハ。斬。已ニ殺ス者ハ。皆梟。

若シ雇人。家長ヲ謀殺スル。已ニ行フ者ハ。流一等。已ニ傷スル者ハ。絞。已ニ殺ス者ハ。皆斬。

殺死姦夫

○新治裁判所伺七年二月十日指令

本夫曾テ姦所ニ在テ、自ラ姦夫姦婦ヲ獲テ、督責スルニ、悔悟罪ヲ謝スルヲ以テ、懲誡シ、宥恕スルノ後、猶之ヲ改メス、一時復タ田間ニ姦通スルヲ獲見テ、捕ヘントスレ氏、走テ獲

凡妻妾。人ト姦通スル。本夫。〔妻妾ノ夫ナリ〕姦所〔密通スル場所ノ一ナリ〕ニ於テ。親ラ姦夫姦婦ヲ獲テ。即時ニ殺ス者ハ。論スル

殺死姦夫

ス、翌日姦夫、傲然父ト来リ浴セントス、本夫其忌憚ナキヲ憤リ、姦婦ヲ牽ヒ、父子ノ面前ニ再姦ノ罪ヲ問フニ、姦夫曰ク、我カ姦實ナリ、汝カ意ノマヽニセヨト、直チニ浴所ニ赴ヽ本夫其罪ヲ懺悔セサルノミナラス、抗言無礼兇ヲ逞フシ、辱メラ加フト一時連義怒ニ堪ヘス、姦夫姦婦ヲ連殺スルニ至ル、勢ヒ然ラサル得サルノ情狀ヲ酌量シ、本律條例凡姦夫姦婦、姦所ニ於テ本夫ニ撞見セラレ直ニ門脫逃スルニ、本夫即時逐テ直ニ外ニ至リ、殺スヲ以テ論シ、姦所ト同シ無罪

○山梨裁判所伺　毛周助

第十三区休息村農三科與石川郡下甲斐國山梨郡管

右衛門弟政吉儀上神内

村農吉岡茂兵衛ニ雇ハレ中、昨癸酉六月ヨリ、茂兵衛ト隣家農古市幸八妻マツ姦シ、幸八之ヲ偵知シ、離別セントスルヲ聞キ、農奥山兵左衛門丸山五郎兵衛倶ニ子細ヲ尋ヲ申サス、妻マツハ姦事ヲ申サス、商ヒ元手金五圓渡シ置ハ、幸八顯ハレクニ、右金ヲ政吉ニ貸シ渡シ、又ハ無謂遣ヒ棄、家事不取締ニ付、不得止離縁致スヒ、申答候ニ付、姦通トハ察シ候得共、幸八ハ貧困ノ處眼病ニ罹リ、且小兒モ兩人有シ之、旁憫然ニ存シ、政吉ニ問ヒ候所、マツヨリ借金有之、且洗濯等賴ミ候趣キ、因出テ賃金ト合金五圓ヲ出サセ、幸八ヘ渡シ、同七月中内濟相成ル、後十一月中マツヨリ尚亦姦ヲ促シ、他

勿レ。密通ノ現場ニカマヒ手ヲ拱ヘ、臨ミテモ、必ア殺スベレバ害遠ス故ニ、若シ本夫ニ殺サルレバ、姦婦ハ止タ和姦律ニ依リ、殺スヲ得ル者ハ、姦夫ハ止タ姦夫ニ若シ殺サルレバ、其罪ハ科ス。姦夫ハ流三等ニ処シ、本夫ハ斬ニ処シ、其妻ハ絞ニ処シ、姦夫ハ自ラ本夫ニ殺サレ、其妻ハ姦夫ニ殺サレ、其妻ハ姦夫ニ殺サレ、其妻ハ姦

雖ヘ連行キ吳ル様屢迫ルトモ、政吉肯サルトテ、十三日タマツ剃刀ヲ以テ政吉右ノ目下ヨリ鼻ヘカケ長二寸程ノ傷付候、然ニ姦夫姦婦ハ自首ノ致シ候、政吉自首ノ懲役一年ノ所、姦夫姦婦各病中ニ付、妊娠審問ニ付、政吉ハ悶絶ス、然ル所ニ姦夫ハ幸ニ滞獄致サセ候テ、政吉ハ責付申付ル、加ヘ五月五日処刑申渡候、当年第九十七號ニ、妻妾人ト姦通シ、不貞ノ者ハ、姦夫ト共ニ、本人ハ、懲役七十日、徒刑百十四條ニ依リ、本人ハ、懲役七十日、徒刑百十四條ニ依リ、本人ハ、懲役七十日、徒刑百十四條ニ依リ

ノ談判ニ及フニ付、向後ソ
ル熊吉ト同席ハ勿論相親
マサル様可致旨、堅ク相約
シ離縁状相渡レ、未タ送籍
ハ致サス候處、同月廿六日
本所竪川通ニ於テ、ツル熊
吉合傘ニテ通行セレヲ見越、
受ケ、直チニ源蔵方ヘ相
前條ノ始末、盟約背ク段
相咎メ候ニ、ツルモ足アレ
ハ他出ノ先ノ了ハ知ルヲ可
キナレト、粗忽ノ挨拶ニ付、
憤怒ニ堪兼、此上ハツルヲ面
部ヘ疵付、鬱憤ヲ散セント、
其夜小刀ヲ懐中シ、彼宅ヘ罷
越セシ、ツルヲ呼出シカ疵ヲ
付ント腕ヘ取付、揉合フ際、誤テ
咽喉ヲ刺シ候ヘハ、即死

八年一月三十一日指令
休書ヲ與フル妻ヲ毆チ死ニ致シ候ノ者

第百七十二條 凡姦夫姦婦姦所ニ於テ本夫ニ撞見セラレ直ニ脱逃スル。本夫即時逐テ門外ニ至リ殺ス者ハ。姦所ト同シ。律ニ於テモ差カナシ。若シ姦所及ヒ即時ニ非スシテ。姦夫ヲ殺傷スル者。客通場所ハ其當坐ノ縁ヲ切タル證跡。分明ナレバ。女ハ。タヾ客通ノ罪ノミ申シ渡スナリ。

致ス者、例第百七十五條鬪毆人ヲ殺ス者ニ擬シ、本罪懲役終身ノ處、其妻本ト人ト通姦シ、屢離縁ヲ乞ヒ竟ニ出走シ夫ト親密シテ顧ミス、不義不信尋常休書ヲ受ル者ト同ク論ス、因テ例第百七十二條ヲ參酌シ、三等ヲ減シ、懲役五年

村上竹藏

ニテモナク。密夫ヲ殺シ。取リ調ヘタル所。密通ニ相違ナケレバ。鬪殺律ニ照シ。二等ヲ減ジテ。拘ク。審糾スル。姦情確實ナレハ。鬪殺傷ニ。二等ヲ減ス。止タ姦婦ヲ殺傷スル者。折傷(手足ヲ折リ體ニ傷ツク)以上ハ。鬪殺傷ニ。五等ヲ減ス。姦夫ハ。和姦本條ニ依ル。若シ姦情曖昧。確據(密通ノ始末。證跡ナラズメ。賊トセレ。ナクシテ。男婦ヲ殺傷スル

○筑摩縣伺別居ニ係ル父子兄弟等共ニ罪ヲ犯スト雖モ父子兄弟等共犯律ニ依ルヲ可キ者ハ、止タ本條一家共犯ヲ尊長ヲ坐シ、卑幼ハ論セス、然ル可キ者ハ、本律條例中同居セスト雖モ、父子兄弟等、至親ニ係ル者、皆是ナリト相見候間、右體至親ニ係ル者ハ、各居ト雖、共犯律ニ依ル可キ儀ニモ可レ有レ之哉、

六年九月二十二日指令

○各居ノ者ハ、一家共犯ノ限ラニ在ラス、本律條例ト同シカラス、

○千葉縣裁判所伺　罪案錄

安房國平群郡山田村農鈴木善右衛門供、私儀、同村鈴木亮平母彌生ト、三箇年本ヨリ姦通致シ居、猶本年前ヨリ五月廿四日夜、外出ノ歸途、酩酊ニ乘シ、同人方ヘ相越シ、春情申掛ケ候ニ、自分妻ヘ聞ヘ候テハ、宜シカラサル旨ヲ以テ、斷リ受候得共、強テ相挑ミ候處、此上ハ余義ナク自刃致スヲ可ク迚、同人儀短刀ヲ取出シ、拔掛ル際、一時情慾ノ遂ケ難キ意ヨリ憤怒堪カ子、忽然殺ヲ生シ、直ニ其飼ヲ取上ルノハヅミ、左手ニ疵付クヤ否、逃ケ出ルヲ後ヨリ切付ヘバ、聲立何レヘカ逃延候ヘバ、怒氣彌相增、前後ヲ辨セス、奥ニ寢居候長女カヲ二男文吾ヲ二女テイ、續テ二男文吾ヲ切倒シ、其咽喉ヲ三名ヲ獄門ニ懸ル人ヲ樹ニ縛リ火ニ焼殺ス惨酷モ仕方ナキ。獄門ハ支解ノ科。

第百七十三條　凡一家ノ死罪ニ非サル三人以上ヲ殺スト稱スルハ。雇人ト雖モ。同居ニ係ル者及

殺一家三人條例

凡謀殺故殺放火行盜シテ。一家ノ死罪ニ非サル三人以上ヲ殺シ。若クハ人ヲ支解スル者ハ。皆梟。

謀殺等ノ。惡事ヲナス人或ハ四肢ヲ上絶チ斬リ。腸ヲ出スハ五體ノ支解レバ皆。

殺一家三人ノ者ハ。各謀故鬪殺傷本條ニ依ル。

（謀殺故殺鬪毆殺等ノ掟ニ通リ。取リ計フナリ。）

重罪ノ形ヲ示ス。仕置ノ如キ云フ。

殺ス者ハ。惡極ノ三人ヲ。特ニ此レ心ガ竟ニ一家ノ害ヲ來ス人ヲ。元ヨリ必ズ其ノ心ヲ言マデモナキ。此律ハ。獄門ノ支解ニ。科ス。

突キ悉ク殺害及ヒ、歸宅致シ候

八年一月二十三日指令

本條謀殺シテ一家ノ死罪ニ非サル三人以上ヲ殺ス者、梟首

鈴木善右衛門

○小田縣伺

入命律凡魘魅ヲ行ヒ、符書ヲ造リ、呪詛シテ人ヲ殺サントスル者ハ、各謀殺ヲ以テ論スト雖モ、其方法及ヒ實驗散ルト、實驗ノ有ル者ハ、頑愚ノ由ヲ拘ハラス、頑愚ノ由ヲ有ル者ハ、一概此律ニ依テ處斷可然哉、

九年一月九日指令

魘魅呪詛等ノ事、史傳ニモ見ヘタリ、其方法及ヒ實驗ノ有無ニ至テハ、現ニ其事實ニ就テハ、審明シ難キ事ニ候ヘ共、頑愚ノ念ヨリ、一時呪詛スル者ハ、一概此律ニ依テ處斷可然カラス、

○培玉裁判所伺

先妻ノ女シモヘ、彦兵衛ヲ聟養子ニ取リ、別居致サセ候所、兩人共、平常ノ事、鬼角私ニハ押隱シ、夫菊太郎ヘ耳相談ス、畢竟私ヲ継母ト

ヒ同居セスト雖モ。父子兄弟等。至親ニ係ル者。皆是ナリ。

魘魅人

凡魘魅ヲ行ヒ。符書ノ造リ。呪詛シテ。人ヲ殺サントスル者ハ各謀殺ヲ以テ論ス。止タ人ヲ疾苦セシメン欲スル者ハ。謀殺已行未傷ニ。二等ヲ減ス。魘魅ト。符書ハ。魘勝鬼魅ノ術ヲ云フ。其本意モト人ヲ殺シ出タル律ニ依テ。件ケ若シ分ルノ。已ニ殺サレ了ルメン。又ナト。簡者テ。怨人テ殺ニナンリテ。ナト即ラ其ミフ罪シ行レトハ。未レ違坐ネ本ヲ苦ラフタフバ。熟ル二ダバヒノ心晴マ誠ルト。殺傷謀深出魘已サシルノ。傷モヨ殺ク來魅ニンメ。ナ三ツ謀リ。

心符書ヲ。手ヒヤ込戲ト下シレモ科ハ。ヒ坐ヲ心ヒ。ヒ出ケ殺ス。ザルヲ罪ヨシ

忌避スル心底、如何ニモ心外ト存シ、殺意ハナク、聊カ食物ヘ疾苦セシメン為メ、蠅取藥ノ残紙ヲ招付候ハヾ、喰ラハ菊太郎ヲ以テ、差贈リ、聟ト娘ニ腹痛致サセ候所、遂ニ御召捕ニ相成候、事實取糺サレ、七年二月廿七日指令

○東京裁判所ニ於テ依頼スル養母、獄中ノ家長ヲ毒殺セシトスルノ命ヲ受ケ、既ニ其藥ヲ買フト異ナル狀平居ノ人ヲ謀ルトモ、其ヲ以テ、尋常毒藥ヲ買テ、未タ

毒殺

絶毋毒藥ヲ用ヒ、聟夫婦ヲ疾苦セシムル狀情、慘毒ト雖モ、素ト殺死スル念ナキト云ヘ雖犯律不應ヲ以テ、酌量シテ、懲役三十日ニ處シ、收贖ヲ以テ、事人命ニ係ル為ノ輕閑ヲ聽サス、

尊長卑幼ヲ毆鬪折傷ニ非ス、比照スルハ、論スル狀情ヲ盡ス、

各謀殺律ニ依テ論ス。買テ未タ用ヒサル者ハ徒二年半。情ヲ知テ。毒藥ヲ賣ル者ハ。同罪。罪流三等ニ止ル。知ラサル者ハ坐セス。

一切人ヲ殺スベキ程ノ毒藥ヲ指テ云フ。然レ疾病等ニ毒藥ヲ貯置テ。療治スルヘト品ニ用ユ。若シ人ヲ殺スル其死ヲ見テ。謀殺律ニ死レバ。是モ亦前條科ノ毒藥ヲ買テ。未ダ殺サレバ。猶用ヒ為ス。分キ通シ。付三件ニ。シテ。ノ。若シ。ヒ。ス。ト。シ。ア。

依頼ヲ受シ雇人、及ヒ周旋シテ金ヲ欺キトリタル罪

案ノ同

七年二月二十四日

指令

該犯、養子善右衛門ノ獄ニ下ルヤ、應死ノ罪ニ係ルト誤聞シ、其家名ノ斷絶ニ至ラシムルモ、ヲ恐レ、寧ロ獄死セシ家名ヲ存スルニ如カスト、竊ニ雇人金藏ニ、毒殺ノ周旋ヲ命シ、其事未タ成ラスト雖モ、事理為スヘカラサルヲ以テ、雜犯律不應為ノ重キニ問ヒ、懲役七十日、情ヲ量リ、收贖ヲ聽ス、

收贖金一圓七十五錢

該犯、家長ノ養母、獄中ノ家長ヲ毒殺セントスルノ命ヲ受ケ、既ニ其藥ヲ買フト雖モ、其狀平居ノ人ヲ謀ルト異ナル以テ、尋常毒藥ヲ買テ、未タ

皇律列彙纂　巻四　人命律上

儘ナリ。其科ハ徒刑二年半ナリ。其心入ヲ知リテ。賣シ者モ。買者ト同罪ナレ。賣タル者計リハ。流罪ナレ。人殺レ。ノ。ヲ。三等ノ仕置ヲ止リ。ト。同意ノ加功スル者ハ。違ヒタ。ノ。賣時ノ奸利ヲ。貪シ者ナレバナリ。

毒藥殺人ノ條例

第百七十四條　凡人ヲ殺スノ心ナシト雖モ。毒藥ヲ用ヒテ。故サラニ。疾苦セシムル者ハ。懲役八十日。

用ヒサル者ト云ニ擬シ難シ、依テフシノ従トナシ、一等ヲ減シ、

懲役六十日　正木金藏

○愛媛縣伺六年七月十七日指令

人命律　鬪毆シ人ヲ殺ス者

懲役終身　花山常八

毆傷スルヿヲ、人ニ圖賴シ、及ヒ内濟示談ヲ為ス、ハ、輕ヲ以テ論セス、

○山梨裁判所伺、六年八月二十日指令

該犯爭鬪ノ際、殺意ヲ生シ、順作ノ咽喉ヲ刃傷ス、順作其場ヲ逸去シ、傷ヲ裹ミ、石ヲ携テ追擊セントシ、失跌滚墜シ、崖下ニ死ス、其死、自カラ取ヘ、ト言ヒ難シト雖モ、又奔逃ニルテ、因ルニアラス、因テ本條、人ヲ殺ス者ハ、故殺スルニ擬シ、斬一等ヲ量減シ、

懲役終身　清水廣作

○大分縣伺六年八月二十日指令

人命律　鬪毆ノ際、有人來テ、之ヲ阻當スルニ、夜中昏黑、何人クルヲ知ラス、且其擧動ノ疎暴ナルヨリ、牧藏ノ黨類來リ助ル者トシ、衆寡敵セス、況ンヤ機測リ難キヲ顧慮シ、拔刀スルノハヅミ、人ヲ傷ス、其原由誤マリ認ルヲ以テ、過失傷ニ一ヲ指以上ヲ折ルニ照シ、懲役一年、贖ヲ聽ス、

收贖金十圓　栗山本治

鬪毆律　瓦石槌棒等ヲ以テ、人ヲ毆チ傷ヲ成ス者、

懲役四十日　中村牧藏

鬪毆ヲ勸解セレトナスニ所為ノ疎暴ナルヲ以テ、名例其律、五刑條例ニヨリ、

凡鬪毆シテ人ヲ殺ス者ハ、手足他物金刃ヲ問ハズ、故殺ハ斬、題ニ並ムナリ、絞、故殺ハ心ニ臨ミ、故意ニ出テ、謂ハ、故ヲ推シ並ヘ、究ケ、本來ノ注ニ、時ニ、心ニ、意ニ、其ニ、人ニ、物ニ、金ニ、刃ニ、道具ニ、注ニ、本ニ、謀ニ、殺意ニ、殺ニ、殺ニ、殺

○滋賀縣伺　村谷嘉市郎　安部熊五郎

呵責

指令　六年九月十三日

該酒食店ヲ開ク、藤七ハ來顧客ナリ、宜ク禮讓ヲ以テ、自己ノ他人ニ待遇スヘシ、然ルニ以テ、強テ藤七ニ去ルヲ勸ム、因テ相承嚷シ、話ヲ説ルヲ以テ、傍人ノ勸阻ヲ聽カス、剩サヘ追趕毆打シテ、死ニ致ス、理直人命ニ關スル論ヲ以テ毆及ス故ヘカラス、殺傷ノ例ハ、凡鬪毆律ヲ以テ人ヲ殺ス者ハ、門地亀吉

懲役終身

○崎玉裁判所

七年起一月十日指令

嘉夫ト思ヒ違ヘ暗中該死人ヲ追フ所存以テ返擊ス、伺忽然殺意ヲ傘

嘉夫ニ似ル者ニ逢ヒ、誰何姓名

嘉婦ヲ追尋ノ際、黒夜

ヒ問フニ、答ヘスシテ逃ク、追テ、及テ、彼レ反擊レ、必然勢ヒ甚タ急ナルヲ以テ、嘉夫ト誤認シ、斬テ斃スニ及テ、嘉夫ノ友ニシテ、其人ニ非ス、然ルニ其友應死ノ罪人ニシテ、且黒夜無言ニシテ、反擊ハ重キ科ナレ。發ド此ノ同謀共毆ハ人ハ。

原謀者ハ。共ニ毆ト否ヲ問ハス。流三等。謀殺下ノ律ニ方殺ハ。手ヲ下スト雖モ。致命傷（命ニ拘ハル傷）ヲ為サ、ル者ハ。杖九十。

若シ同ク謀ニ人ヲ殺ス者ハ。共ニ毆ル人ハ。手ヲ下ス者ハ。

第百七十五條　凡鬪毆人

鬪毆及故殺條例

○埼玉裁判所伺　武藏國埼玉那笹久保村農遊馬善次郎曰、私長男藤吉性來大酒ニテ、常ニ兩親ヲ罵詈叱咤、或ハ折々打擲ス、旦辛未十月、大醉ニテ外ヨ

懲役九十日入川篠三郎

激

急刺、此時ニ方リ、該犯ノ心、純ニ義憤ノ發ナシ、然ルニ以テ嘉夫ト性命ヲ護スルノ急ナルト、勢ヒ然ラサルヲ得ス、仍テ捕亡律、罪人兇器ヲ持拒捕云々ニ擬ス可キノ處、唯兇器ヲ持セサルヲ以テ、一時忿激シテ、擅殺スル者ニ比擬シ、

共毆科ハ。仕出テ却テ人ハ。

無命ハ。手ヲ下ル者ハ。

拘ハ。發ナレ。起人ノ了ル程ノ簡ハ。殺ス者ノ科ヨリ。

輕シ。此ハ。謀殺ト。共毆ト談シ合ヒ。

別ニ最初ハ。謀殺ト談シ合ヒ。

合ハ。ヌ。

餘人ハ。手ヲ下ス

七年一月二十四日酒ニ酩酊シ帰来リ私ニ対シ酒一升買上過ノ求メ上ル申ニ付キ五合ノ酒ヲ恐レ怒リ以テ所ノ其ヲ殺シ故意ニ重撃掛リ少キ戸ヲ外ニ迫リ来リ驅ル怒ル

該犯人ハ自死ノ手段ヲ打チ絶命シ村吏ニ届ケ候節罪状録

歐罵ノ数ヲ指令ス

家ニ帰リ子ニ対シ素大酒ヲ好ミ父ヲ

沾ハ老父ニ一升酒ヲ飲ム

沾ハ之ヲ提ケ

沾ハ猶不足ヲ怒リ勢ヒ以テ薪ヲ擬シ

盡ス犯人ハ之ヲ為ニ大醉シ

五合ノ酒ヲ与フ

該犯人ハ躍ル

歐罵ノ数ヲ四十回ニ

歐打シ

歐打シ

歐打シ

上ナルヲ以テ、收贖金三十圓例百八十三條、毆ツ者ハ徭役十年、罵ル者ハ三年ニ該ル、夫ヲ毆ツ百日ノ罪ヲ以テ之ニ比照シ難シ、故ニ本文ニ懲議ヲ盡クス、

○宮崎縣伺

士族、鬪毆ノ末、人ヲ殺シ、其事跡ヲ秘隱シ、官ノ探索ニ因テ發覺シ、捕縛ニ繫ル者ハ、禁錮終身ニ處シ可申申哉、

七年三月二十三日指令

鬪毆ノ處斷哉、

依リ、閏刑ニ人ヲ殺ス者、情狀ニ如テ論シ、懲役終身ニ科ス、

又鬪毆殺ハ、破廉恥ナル事跡ヲ隱匿スル者ハ、雖モ、道理ニ非ス、破廉恥甚ニ似タリ、除族ノ上、懲役終身ニ可ス、

第百七十八條

凡同謀共ニ人ヲ毆傷シテ即時傷ノ身死ス者ハ、一等ヲ減シ、懲役十年ニ處ス。又傳發ノ人ト仲間ト急ニ傷ヲ毆ツ者ハ、一度ニ重キ傷ヲ負ハシメタル者ハ、一人ニ付キ、科ル所ノ重キ者ニ比シ、一等ヲ減シ、懲役十年ニ處ス。

○大坂裁判所伺

大坂南大組第十三區高津町工西村善八儀、別紙罪案等、輕ク該犯工夫ノ器械ヲ以テ、輕造成セハ、職業ノ害ナラン、慮リ、同工數十人申合ノ談承諾ス、新器械發明ノ儀、強テ該犯容易ニ開釀シ、頗ル暴極ム、該妻ノ頭髮ヲ掉スル際、伊刀ヲ以テ擬ス、其景況實ニ致シ、死ニ至ル者ハ、何ト傷ヲ見ナ、溜ラス伊兵衛ヲ見ル、拔刀ヲ以テ、止ヲ得サル出ル、苛酷故殺ニ其理由ヲ下シ、情覺ヲ以テ定擬候ハ、論シ、鬪毆殺ヲ以テ、後ニ比依シ、懲役十年申付可然哉、

成スヽ重キ者ハ、後ニ手ヲ下シ、傷ヲ成スヽ重キ者ハ、先ニ毆ル者ハ、死タル。重キ者ハ、懲役終身ニ處ス。若シ時ヲ經テ、身死ス致スヽ至ル者ハ、何ト傷ヲ見テ、死ス重キ者ハ、其場ニ改メ程テ究明シテ、傷ヲ正シ、何レハ傷ヲ甲ノ傷ヲト、究附ヲ云ヘ、懲役終身ニ處ス。若

八年一月十八日指令
善八ノ發明器械ニ、利益多キ
ヲ嫉ミ、其違約ヲ詰問シ、强テ
之ヲ發セシメント、多衆該家
ニ侵入シ、器械ヲ强奪スル
ミナラス、善八ヲ捺ケ付、頭髮ヲ突攫
落シ、轆轤ヲ投ケ其妻ニ及ヲ
ミ押伏セ、尋ヲ何ノ
見、善八必至急迫ノ餘リ、
思慮ナク、伊兵衛ニ疵付、遂ニ伊兵衛
死ニ到スト雖モ、素ト伊兵衛虐
等ノ遲惡甚キヨリ、彼カ兒
暴横ヲ防キ、己レカ身体財産出
ヲ護ルノ已ムヲ得サル非ルニ
テ、始メ殺意アルニ非ルニ
罪ノ問フヘキナシ、

西村善八

第百七十九條　凡人ト爭

論鬪毆ヲ臨時殺意ヲ起シ。人ヲ殺ス者ハ。
故殺ニ坐ス。若シ爭鬪ノ
後。仍ホ餘怒ヲ尋キ。追逐シ原謀。共ニ毆テ。亦致命重傷ヲ為スニ係ラハ。原
謀者一發起人ト。手傳ヒシテ。
急暴傷ヲ一度ニ手ヲ下セ
發起人ヲ重レトナシ。科ハ。
懲役終身ニ處ス。

シテ兇殺（腰立ガ止メ又追カケニ仕掛テ。毆殺シ。切殺ス。）及ヒ爭鬪ニ
因ルニ非スト雖モ。臨時
殺意ヲ起シテ殺ス者。預
謀ノ顯跡ナキ（爭鬪ハナキニテ。人殺ノ出来心ニ
當坐ノ出来シヲナシ。謀殺ノ樣子ハナキ）ハ。並ニ。故殺ヲ以テ
者。
論ス。其傷シテ。死セサル
者（上ノ件々ニテ。傷ヲ附ルモ。鬪毆傷ノウチ。輕重ヲ分チ。判クナリ。）ハ。仍ホ鬪
毆傷ニ依ル。

ハ。絞。

若シ故サラニ。蛇蝎毒蟲ヲ用ヒ。（手ヤ蝎ヤ誤チテハナク。蛇ヤ蝎ヤ又ハ蜂百足ノ類ヲ遣ヒ。）人ヲ咬傷セシムル者（咬ミ付カセタリ。傷附サセタリスル者。）ハ。鬪毆傷ニ。一等ヲ加ヘ。罪流三等ニ止ル。因テ死ニ致ス者ハ斬。

屏去服食ノ條例

第百八十條　凡人ノ服用。飲食ノ物ヲ屏去シ。若ク

屏去服食ノ

此條ハ。人ノ衣服食物ヲ。取リ棄テ抔ノ、飢寒困難セシムル等ヲ云フ。

凡人ノ服用（衣服ノ類ヲ着用スル）飲食ノ物ヲ屏去シ。若クハ物ヲ以テ人ノ耳鼻。及ヒ孔竅中ニ置キ。（砂ヤ石。或ヒハ鍼針ナドヲ。耳鼻等ノ穴ニ入レ。傷附タル者。）傷損スル所アル者ハ。各鬪毆傷ニ。一等ヲ加ヘ。罪流三等ニ止ル。因テ（飢寒ノ傷ニ因リ。死ニ至ル者）

○熊谷裁判所伺

上野國群馬郡上佐野村農

美細津善吉曰、當十月一日相

荒牧藤次郎酒興ニ乘シ、相撲

ヲ望ムニテ、私ノ好敵手ニ多

病疲カ来レ、同人ハ従

撲ヲ取セ、片足ヲ取ラセ頗

置セキ、然ル後摔合ヒ倶ニ頭上

無之故、先ニテ、次郎痛ク

及腰骨ヲ撲チ、即時療養

倒セシ節、藤次郎ハ倒レ

加ヘ、逐日映喩ニ赴キ

同十九日死去セリ、

七年一月二十四日指令ト云

他ノ醉ニ乘シ、相撲倶ニ顛倒シ

他ヲ誘ヒ、競力ノ際ニ顛倒シ

其打撲ニ因リ、死ニ至ルモ、

其死自ラ取ル耳、罪ノ論スル可キナシ、

人命律下

戲殺傷人ヲ

凡戲ニ因テ人ヲ殺傷スル者（人命ニ関レトモ拘ル程ノ事ヲ云サ。拳ノ合棒ノ如キ毆ナキ合リ。）ハ。闘殺傷ノ二等ヲ減ス。（真ノ輕闘毆ヨリ。）

傷モ。二等ヲ減ス。闘毆律ノ箇條ニ引ルナリ。

合セ二等ヲ減ス。輕クスル

若シ高ニ乘リ。危ヲ履ミ。

假令ハ。階子ノ上ヲ渉ラス。拯ノ上ヲ。氷ノ上ヲ。因テ相戲レ殺傷スル者ハ。一等ヲ減（用ヒテ。戲レニ。拳レヤ棒ヲ殺傷セシ）

ハ。物ヲ以テ。人ノ耳鼻及ヒ孔竅中ニ置キ。因テ死ニ至ル者ハ。絞。改テ懲役終身。若シ謀故ノ情アル者ハ。各本律ニ依ル。（モシクハ殺スト。出來心ニテ殺スト。心入レアル者ハ。謀殺ト。故殺ノ律ニテ。仕置スルナリ。）

○敦賀縣伺

右ハ別紙罪案ノ通、妬心ヲ懷キ、彌助娘多計ノ髪ヲ切取押出ル可ク、騰キヲ聞付ケ、其場ヘ相トレテ、合宿熊吉、過テ左ノ鬢先ヘ切付ル例ニ當リ、刀傷ヲ負セル過失殺傷人條例、刃傷ノ本圖ニ照シ、収贖金十五ノ重傷ニ付テモ無之、闘毆條例、鎌刀等ノ傷ニ付テハ贖ヒ難キ者ニ依リ、平民犯シ懲役罪不實斷條例ニ依リ、且無力ノ者ニ付テハ罪斜難決候間、如何處刑可申付哉、罪案之儀可申付所、

六年八月三十一日指令

醉狂中、妬心ヲ發シ、刀ヲ抜テ婦人ノ頭髪ヲ截リ、誤テ勸解人ニ傷ク、本律凡闘毆シテ傍人ヲ殺傷スル云々ニ擬シ、及傷スルヲ以テ、懲役二年

鰐石勝之助

凡闘毆シテ。誤テ傍人ヲ殺シ。或ハ欲飲抔ノ時。傍ヲ解勸スル通行人ノ人ヲ合毆ヒ。他人ヲ抔ノ中ニ毒ヲ入テ。誤リテ外ノ人ヲ殺ス類ナリ。故殺ヲ以テ論ス。傷スル者ハ。仍ホ闘毆ヲ以テ論ス。

詐稱殺人ヲ

凡津河。水深ク泥濘ナルヲ。平淺ト詐稱シ。及ヒ橋梁渡船朽漏ナルヲ。牢固ト詐稱シ。人ヲ過渡(泥水ノ中ニ船渡ヲ)セシメ。因テ陷溺(泥ノ内ニ)シ。死傷ニ致ス者ハ。闘殺傷

リハ罪ガ一段重ク。闘殺傷ノ本律ヨリハ。タヾ一等輕キマデナリ。

誤殺傍人

凡闘毆シテ。誤テ傍人(合毆ヒ)ヲ抔ノ時。傍ヲ解勸スル通行人ノ人ヲ或ハ殺傷スル者ハ。闘殺傷シ。人ヲ準(闘毆傷附置)ヲ仕ハ。罪スケレル人ノ罪ヲ殺シ。流刑ノ人ヲ謀殺論ス。流三等ヲ增ス。ヌナリ。故殺罪。流三等ニ止ル。人ヲ殺ス者(人或違ヒ見違ヘ)ハ。誤テ夜打傍

○白川縣、兩馬途ヲ行タニ、跨ヨリ来ル馬先タツ時、先ノ馬士モ、亦セリ懸ケタルハツミ、先ノ馬士、馬諸トモニ塘下ニ落テ、死去ス云云 伺六年七月二十二日指令

兩馬駻踢シ、他人塘下ニ落チ、死ヲ至ル、必竟危險ノ道、已ノ馬ヲ先キヘ牽キ過ントスルノ、過失ニ因ルヲ以テ、人命ノ律ニ依リ、過失殺ヲ以テ論シ、法ニ依リ、收贖シテ其家ニ給付ス、

收贖金三十五圓 大仁田勘十郎

犯罪、改定律前ニ在ルヲ以テ、斷罪依新頒律條例ヲ定擬ス、

○新治裁判所伺

右罪案ノ通ニテ、死者富藏、並ニ傳左衛門長兵衛三人、俱ニ木太刀ヲ擔ヒ、切先ニ當ル者、木根ニ躓キ、足蹉跌スル二人モ、動搖ニ倒サレ、前ニ蹉跌スル者、太刀ノ為メニ壓死ス、此一案、該犯共ニ重物ヲ擧テ、力ヲ制スル者能ハス、同ク物ヲ擧ル者損及スルノ類ト異ナリ、刀ノ落ツル死者自ラ誤リ失ツ、過ノ人ノ過ヲ以テ、二人ノ因ル、罪ヲ論シ難キニ似タリ、雖然太刀ノ重量ヲ、二人ニ平均シ、力ラ堪ヘサルヲ以テ、並ニ數日ニ非ラス、且ツ肩ヲ轉ヘル、其間三尺余、死者ノ倒スル、救護ノ機無キト云可カラス、然ルヲ偶然意外ノ變動ニヨリ、負擔ノ物ヲ

贖シテ。其家ニ給付フ。過失殺傷例圖ヒ料ヲ引キ合セテ。收贖ノ贖ヲ取上テ。其者ノ家ニ渡ス。

過失殺傷人條例

第百八十一條 凡過失殺傷收贖ハ。官吏。華士族。平民ヲ分クス。一體ニ。本圖ニ照シテ。追シテ。其家ニ給ス。

外ノ、殺傷ト違誤ヒ。華士族ヲ生シタル禍ヒ。平民トテモ身分ニ拘ラ

凡過失殺傷人ヲ罪輕シ。過失ル戲レニ人ヲ殺セ

此律モ。人ヲ殺サシト謀テ。爲ラ子バ。鬪殺傷タルコナ當テ、仕置スノ律ニナリ。

ヲ以テ論ス。

鬪殺傷ニ準シ。法ニ依リ。收

ニシテ。人ヲ殺傷シタル者ハ。各

初メテ人ヲ害スルナリ。

ハキテ。船人ヲ殺ス意ナリ。

所ニ人ヲ傷ル馬ヲ馳セ。

ト升ニ起ル。

ニ當リ。

メ。瓦ヲ跌キ。

タヤ或ヘ小石ヒ。

ヨリ。ハ。鳥ハ。

ニ高ク。

ヲ類ヲ、

ヲ獸ヲ、

ヲ捕獲セ

ヲ過チ。

又險ド。

失落シ、同擔ノ者、壓死ニ至ル、依テ二人ノ過失ヲ以テ論シ、傳左衛門長兵衛儀ハ、本條及ヒ同條例第百八十二條ニ依リ、收贖金四十圓ヲ、二人ニ分追シテ、死者ノ家ニ給付シ、清左衛門伊右衛門源右衛門儀ハ、人命律移地界内死屍條例第二百四條ニ依リ、懲役四十日宛贖罪可申付哉、

七年一月二十九日指令

成毛富蔵ノ死ニ至ル、素ト自ラ蹶躓轉倒セシ勢ニテ、三人倶ニ擔ヘル虔ノ木太刀ヲ取リ、身自ラ壓死スルニ至ル、故ヲ以テ、罪ノ論ス可キナシ、

成毛傳左衛門長兵衛門係

同凡變死ニ非ス

例第二百四條、

第百八十二條　凡一人。二人ヲ過失殺スル者ハ。例ニ照シ。金八十圓ヲ收贖シテ。均シク二人ニ分給シ。二人。一人ヲ過失殺スル者ハ。金四十圓ヲ二人ニ分追シテ。一人ニ給付ス。一人。二人ヲ傷スル者モ。亦此例ニ依ル。

失落シ、同擔ノ者、壓死ニ至ル、依テ二人ノ過失ヲ以テ論シ、傳左衛門長兵衛儀ハ、本條及ヒ同條例第百八十二條ニ依リ、收贖金四十圓ヲ、二人ニ分追シテ、死者ノ家ニ給付シ、清左衛門伊右衛門源右衛門儀ハ、人命律移地界内死屍條例第二百四條ニ依リ、懲役四十日宛贖罪可申付哉、

七年一月二十九日指令

成毛富蔵ノ死ニ至ル、素ト自ラ蹶躓轉倒セシ勢ニテ、三人倶ニ擔ヘル虔ノ木太刀ヲ取リ、身自ラ壓死スルニ至ル、故ヲ以テ、罪ノ論ス可キナシ、

成毛傳左衛門長兵衛門係

同凡變死ニ非ス

例第二百四條、

レル屍ハ官ノ檢視ヲ經ルコトニ聽ハ、私擅ニ埋葬スル

サス、違フ者ハ懲役四十日、戸長タルヲ以テ等外吏ニ準シ、例ニ照シ、贖罪金三圓宛、山田清左衛門ト同ク擬シ、懲役四十日贖ヲ聽ス、

贖罪金三圓

木村源右衛門

○三重縣伺

右ハ罪案之畧ノ通、妻キシノ殺ヲ縊殺スト雖モ、其情狀故誤ヲ以テ論シ難ク、將タ殺トモ見做シ難シ、因テ改定律例二百二十三條、凡夫妻ヲ毆テ死ニ至ルト云ヲ、以テ論シ、懲役終身可申付哉、奉伺候也、

七年七月十四日指令

該犯ノ妻、傲慢放怒、曾テ夫ノ言ニ聽從セス、即時離別セシコトヲ迫リ、且ツ暴戾自ラ死セシ、夫ノ帶ヲ取リ己ノ頸

總テ一人ニテ殺セバ。其罪至テ重ケレ。二人ヲ過チ生シ。是非ニ及ハス故ニ。如此割附ヲ。收贖サセ。他ノ人命ニ關ル條ナリ。相違ナリ。

毆死有罪妻妾

凡妻妾。夫ノ祖父母。父母ヲ毆罵スルニ因テ。夫。官ニ告ケス。擅ニ殺ス者ハ。杖九十。祖父母。父母。ノ親ヲ告ルヲ待テ。乃坐ス。若シ夫。罪アル妻妾ヲ毆罵

ニ巻キ、強テ之ヲ牽カシム事
機已ムヲ得ス其言ニ従フヨ
リ、遂ニ縊死ニ至ルト雖モ、其
死ヤ、妻ノ自ラ取ル處ニシテ、
妻ノ毆殺死スル者ニ問擬ス
ヘカラス、止タ登時已ムヲ
得サルノ勢ニ出ルト雖モ、輙
ク其言ニ従フヲ以テ、不應為
條不應為重ニ問ヒ、
懲役七十日　堀川彌五七

論スル勿レ。

第百八十三條　凡妻妾。夫ノ祖父母。父母ヲ。毆罵スルニ因テ。夫。官ニ告ケス。擅ニ殺ス者ハ。杖九十。改テ懲役一年。其傷スルニ因テ擅ニ殺ス者ハ懲役九十日。

毆死有罪妻妾條例

祖父母ヤ父母ヲ妻妾ノ身ニテ毆ケ罵ルト。妻妾。因テ自死スル者ハ。

云フ。有間敷。無論ナレ。毆ケテ傷ツケザルニ。其夫擅ニ殺ハ。余リ過タル故。改メテ懲役一年ニ申付ルナリ。若シ又傷ツケタレバ。殺スモ九十日ノ懲役ニテ事スミナリ。

殺奴婢

凡奴（召仕ノ男）婢（召仕ノ女）死罪ヲ犯スニ。家長。官ニ告ケス。擅ニ殺ス者ハ。杖七十。若シ罪ナキニ。毆殺スル者ハ。徒三年。故殺スル者ハ。流

二等。

若シ家長。雇人ヲ毆ツハ。折傷ニ非ルハ。論スルヿ勿レ。

召仕ヒノ男女ヲ毆ツ。手足ヲ折ルカ。體ニ傷ツケザレバ。差構ヒナキヿ。折傷以上ハ。凡一人ニ三等ヲ減ス。並ノ人ヲ。折傷セシヨリハ。召仕ヒ丈ケ。三等ヲ取リ捌クナリ。因テ死ニ至ル者ハ。流一等。故殺スル者ハ。絞。

改正殺雇人律

原殺奴婢律

第百八十四條　凡雇人。死罪ヲ犯スニ。家長。官ニ告ケス。擅ニ殺ス者ハ。懲役八十日。（此雇人ハ。綱領ノ奴婢ト。雇人ヲ兼テ云フ。）

第百八十五條　凡家長。雇人ヲ毆チ。死ニ至ル者ハ。流一等。改テ懲役十年。

將屍圖賴

凡祖父母。父母。子孫ヲ故殺シ。及ヒ家長。奴婢ヲ故殺シ

年。三等親以下ノ尊長ハ。各一等ヲ遞減子孫ノ者ハ。奴婢抔ガ死シタ。持出メ。他人抔ケ目上ニ關ノ人ル。涉アル屍ヲ尊長ノ家長ノ過チ忘ル本ハ。死レ抔スレバ。其ノ子孫ハ。奴婢等ノ哀傷ヲ為ス者ハ。詐騙ノ割付ヲ為ス。文書ヲ如シ附シ科ヲ申シ若シ尊長。已ニ死スル卑幼。及ヒ他人ノ屍ヲ將テ。人ニ圖賴スル者ハ。杖八十。又目上。年上ノ人及ビ他人同志ガ。言カケヲスレバ。此條ト上ノ條ノ科ニ當ルナリ。官ニ申シ上ルニハ言カケハ。

人ニ圖賴スル者ハ。各本罪ニ一等ヲ加フ。已來心ニガ出テ。言葉ヲ脱シタル科ヲ人ノ他人ハ。其ノ犯シタル罪ヲ一段重ク。奴婢捌キ一等ヲ減ス。假令ヘバ。家長ハ。流三等ト流ナル。故ニ殺ヲ云フ。若シ子孫。及ヒ奴婢。已ニ死ル。祖父母。父母。及ヒ家長ノ者ハ。屍ヲ將テ。人ニ圖賴スル者ハ。杖八十。目上ノ人ノ屍ヲ將テ。人ニ圖賴スル者ハ。徒三年。二等親ノ尊長ハ。徒二

○新治裁判所伺六年七月十二日指令

路頭ニ於テ、犬ヲ鬬ハシメ、因テ同伴人ノ腰刀ヲ借リ持テ、人ノ飼犬ヲ斬殺スル者及ト其刀ヲ貸ス者、改正本律故ナク剣刃ヲ挺ク者ニ擬シ、懲役三十日、例ニ依、閏刑ニ換、禁錮三十日　牧

初

ニ死スル家長ノ屍ヲ將テ。人ニ圖賴スル者ハ。懲役百日。

華士族以下ノ雇ト人。モシ何事ナキ家長ノ死屍ヲ持チ出メ。他人ニ難題ヲ云ヒ掛スル者ナリ。

弓銃殺傷人

凡故ナク。弓箭銃砲ヲ放チ。及ヒ劒刃ヲ挺ク者ハ。人ヲ傷セスト雖モ。杖六十。用ユ可子細モナク。妄リニ飛道具ヲ扱ヘバ。人ニ物ヲ取リ

其官ニ告ル者ハ。評告律ニ應ジテハナク。直キ「ナリ。

依テ罪ヲ論ス。内々ノ言掛ヲ御上沙汰ニスレハ。評告律ニ依テ捌ナリ。因テ財物ヲ詐リ取ル者ハ。贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シ。重キニ從テ。之ヲ科ス。財ヲ數ヘ見テ。竊盜ノ罪ニ引當タル方。重ケレバ竊盜ノ罪ガ重ク。當方ニ引當テ。圖賴ノ罪ヲ定ムルナリ。

將屍圖賴條例

第百八十六條　凡雇人。已

牧初ノ従トナシテ論シ、一等ヲ減、禁錮二十日　前澤啓藏

○千葉裁判所伺

右ハ、罪案之署ノ通、従父妹ヲ過失殺スル者ニ付、凡人過失殺ヲ以テ論シ、事犯改定律例御頒布已前ニ在ルヲ照ニ以テ、舊過失殺収贖例ニ追シ、収贖金三十五圓ヲ給スト可キ處、當時埋葬ノ家資金ト、殺サル者ノ家ニ其數滿シテ、米金等贈遺シ、今計レハ、收贖金ノ數ニ滿シ可然ヲ以テ、直ニ放免シ、七年五月二十九日指令ノ地ヲ以テ、百八十八條、曠野無人ノ地ニ於テ、故ナク銃ヲ放チ、因テ人ヲ殺スヲ以テ論ノキ者、過失殺スヲ以テ論ス。

傷ハ附ズ。モト故ナク。抜スベキ物ナラ子バ。此咎メアリ。傷スル者ハ。凡鬪傷ヲ以テ論（鬪毆律ノ内傷附タル罪ニテ。科ヲ定ム。）死ニ致ス者ハ。絞。士族卒ハ。破廉恥其者（贖モ。閏ヒ刑ニ科ナリ。）ヲ以テ論ス。

第百八十七條　凡故ナク。弓箭銃砲ヲ放チ。及ヒ劒刀ヲ挺ク者ハ。人ヲ傷セスト雖モ。杖六十。改テ懲役三十日。傷スル者ハ。凡鬪毆傷ヲ以テ論ス。因テ死ニ致ス者ハ。絞。改テ懲役終身。

第百八十八條　凡曠野無人ノ地（コノ末ニ山ノ奥。野ノ城市ヲ云ヘバ。人家アル地トハ云ハレニ。其内ニ於テ。故ナク。弓銃ヲ放チ。因テ人ヲ殺傷スル者ハ。過失殺傷（野末荒ス。猪鹿ヲ打ツナ田園ヲ）所、當時埋葬ノ資金トシテ贈ル所、已ニ収贖金ノ全數ニ滿ルヲ以テ、直チニ放免久保七平治ナルヲ以テ犯罪改定律前ナ依テ、原律収贖法ニ依ル

○白川縣、人力車夫誤テ人ヲ傷セシ伺、七年十月五日指令

本律第一項ニ依リ、勅奏判以下、凡人ト同處分ス、

○名東縣、人力車夫誤テ人ヲ傷セシ伺、七年十月十日指令

過失殺傷人條ニ依テ處分スベキ來シ。

○筑摩縣、馬ニテ人ヲ踏仆シ死ニ致シ、及ヒ亂毆スル者ノ罪案伺、七年一月十三日指令

二人共ニ、暗夜故ナク、街市ニ馬ヲ馳セ、過テ人ヲ踏仆シテ死ニ致シ、傷ノ輕重ヲ知ラサルトキハ、以テ、先ヅ馳ノ者ヲ首トナク街市ニ馳騁シテ人ヲ死ニ致スニ擬シ、因テ人ヲ傷スル者ハ、車馬ヲ馳騁シ、因テ人ヲ死ニ致スニ擬シ、小林由兵衛ニ懲役十年

論シ、懲役九十日

芹澤文平

第百八十九條　凡弓銃ヲ放チ。及ヒ劒刃ヲ挺ク者。罪モ亦輕シ。ヲ以テ論ス。

華士族ハ。破廉恥甚ヲ以テ論スル律ヲ改メ。一體ト。閏刑ニ處ス。一體トハ。華族モ。俱ニ仕置ハ。同ジ閏刑ニ濟スト云フナリ。

凡故ナク街市ニ車馬ヲ馳騁シ人ヲ傷スル者ハ。

車馬殺傷

土地ノ所ナレバ。曠野人ナキ樣ニ。車馬ヲ馳スベキ非ス。地ニ車馬ヲ馳騁シ往來シ。因テ人ヲ傷スル者ハ。

凡鬪傷常ノ鬪毆律ノ。傷ツケタル科ナリ。ニ一等ヲ減ス。死ニ致ス者ハ。流三等。

若シ馬驚逸物ニオヒテ出ス。シ。或ハ公務ノ急速御用向ニテ急ク。ニ因リ馳騁シ傷ツクルハ。人ヲ殺傷スル者ハ。過失ヲ以テ論シ。法ニ依リ收贖シテ。其家ニ給付傷ツケシ人ニ。

○愛媛縣伺惡獸圍菜ノ荒ス

ント、所持ノ小銃ニ、彈防藥禦セ

込ミ、邸内ノ右場所ノ下ニ、四面伏銃高ス

石垣安置シテ、彈丸他ハ逆飛セズ

患ナシ、葛蔓ト雖伏銃ニ表張テ

越潛入栗實ヲ以テ目印ヲ垣

印ハ栗樹ノ拾ヒ

傷ヲ置シ木札ノ

約ヲ

過失傷ノ科ニ當テ。例ニ圖ニ引合セ。收贖ノ贖ヒ料ヲ出サセ。傷受メル家ニ授ク。

第百九十條　車馬殺傷人ノ條例

凡深山。曠野。猛獸類（野猪ノ）ノ往來スル處ニ於テ。阬穽ヲ穿作シ。及ヒ窩弓ヲ安置シテ。望竿。及ヒ抹眉索ヲ立サル者ハ。懲役四十日。以テ（穽坑）人ヲ傷スル者ハ。鬪毆傷ニ四等

固ヨリ山間ノ村落トハ雖ドモ、猥ニ其邸内ニ伏銃スル者ハ、責メ、不應爲ノ輕キニ問ヒ、量情聽贖シテ可ル止タ官ノ許可ヲ得スシテ、獵銃ヲ取扱ヲ以テ違式ニ擬シ、處斷可レ致哉、相伺候也、

明治八年二月十八日指令

伺限藥銃ノ通、過失傷ヲ以テ論スル問獵銃贖ヲ設ケス、但シ邸内ニ、裝置ハ不應爲輕ニ聽シ、免許鑑札無シ所持スル者ハ、銃砲取締罰則ニ依リ、品物ヲ官没シテ五十錢ヲ科ス、

減ス。減シテ本罪ヨリ輕キ者ハ。本罪ニ依テ論シ。死ニ致ス者ハ。懲役三年。仍ホ埋葬金二十五圓ヲ追シテ。死者ノ家ニ給付ス。若シ深山曠野ニ非スシテ。人ヲ殺傷スル者ハ。車馬殺傷人律ニ依ル。

山ノ奥。野ノ末ニテ。野猪鹿ノ類ヲ取ハ。モトナ人ヲ陷ル穽ニテモナク。人ヲ殺ス窩弓ニテモナレ。其レハ目當ヲ立サレバ。穽

定ルナリ。

第百九十一條　凡窩弓人ヲ殺ス者例ニ依リ罪ヲ科スト雖モ貧困ニシテ埋葬金ヲ追スル能ハサレハ其雇工錢ノ全數ヲ領置シ食費ヲ除キ餘ル所ノ雇錢金二十五圓ニ滿レハ死者ノ家ニ給シ仍ホ役限ハ本法ヲ盡ス。

此十附ノ其日律ヲバモ氏四ヲ附ル十附ナ機ニモノ懲日タ掟内トノ四懲内假等負クナ日ベシ關設ナア役ヨル棒損同傷等役損令ヲヤレリ。ノキサハ。ケク。ル四リ律ナ吐シ附引ハ吐バ減タバモ懲理ス知置薄ヲ十輕ニド血罪ヌバ十血人メル鬪役アレルタ暗知日ク當ニヨナ片ヤ日ヤヲ仕箇毆又ヲルバベル。キル處ベニナレテリリノハナシ傷置條律人申故人キ高弓ナキ科ルバ打以モ四リリ。ムスヨノフシ附ヲ様ヲ様ナ故四傷下レ十此夫レレリ。傷傷附四傷モノド

○愛媛縣伊豫國宇和郡平城村、觀自在寺覺信曰、當酉一月十八日、久吉浦淺七ナル者、病体ニ付ノ様子ニテ、親類同道ニ付、荒々敷呵責シ、赤裸ニナシ、左親指ヲ松葉ヲ焼キ、荒庭上ニテ枯ル赤レ頼ヲ祈禱シ、狐ノ憑ル者ト、之ヲ持祈禱ニ病者ニ至ラシムル原由、最初ノ病症、藥剤ニ係ルヤ否ヲ審ニセス、且其病者ヲ烘薫スルモ、一途苦悩ヲ除クノ真情ニ出テ、毫モ財物ヲ貪ルノ情ナク、専ラ治療ニ注意シテ、死ニ致スモノ庸醫ノ鍼穴藥劑ヲ誤リ、死ニ致スト、殆ト相似ルヲ以テ、本條庸醫鍼藥ヲ用ヒ、誤テ本方ニ依ラス因テ死ニ致ト云ニ比照シ、過失殺ヲ以テ論シ法ニ依リ、収贖シテ、其家ニ

腹類ヲ者ニ、手足ヲ持タ左ヲ薫フルニ轉頻逃出サ

七年二月十七日指令

該犯浅七カ狂状ヲ發スルヲ見テ、狐狸ノ憑ル者ト、之ヲ驅逐ノ為メ、加持祈禱ニ病者ヲ薫灼シテ死ニ至ラシムルトヲ雖モ、其原由、最初ノ病症、藥剤ニ係ルヤ否ヲ審ニセス、且其病者ヲ烘薫スルモ、一途苦悩ヲ除クノ真情ニ出テ、毫モ財物ヲ貪ルノ情ナク、専ラ治療ニ注意シテ、死ニ致スモノ庸醫ノ鍼穴藥劑ヲ誤リ、死ニ致スト、殆ト相似ルヲ以テ、本條庸醫鍼藥ヲ用ヒ、誤テ本方ニ依ラス因テ死ニ致ト云ニ比照シ、過失殺ヲ以テ論シ法ニ依リ、収贖シテ、其家ニ

庸醫殺傷人

凡庸醫。未通セサル醫道ニ精鍼藥ハ。過失ニ因テ人ヲ殺ス。者ハ。贖ニ計ヘ。竊盜ニ準シテ論ス。因テ死ニ致シ。及ハ。直ニ出ス錢ニ上ル。料ヲ懲ル役年限中ニ。積ル。預リ置キ。常ニ止メ。ヲ懲ル役ノ如ク。出ス贖金ヲ。渡ス。遣ハ。ヲ。ヲ。ヲ

給付シ、其弊害、宗法ニ由ヲ以テ、

奉職　收贖金三十五圓　覺信

所犯改定律前ニ在ヲ以テ、斷罪依新頒律條ニ照シ、收贖金數ハ舊法ヲ用ユ、

○鹿兒島縣強姦已ニ成リ、婦女羞忿自盡セシ伺

七年二月二十八日指令

強姦已ニ成リ本婦羞忿自盡ヒ事ヲ因テ。故サラニ藥ヲ用ヒ。人ヲ殺ス者ハ。斬。

前條ハ。全ク誤藥ナリ。此條人通ヲ殺傷シタル者ガ。其裏的ニ當ルトテ。此藥ハ。此病ニハ。

凡戸婚田宅錢債等ノ事ニ威逼致死ニ

罪ナリ。斬ハ。

スル者、奸夫ハ本律姦ヲ行ヒ、人ヲ以テ論ス可シ、威逼シテ自死ニ致ス者ハ。

○司法裁判所六年九月三日申渡シ

警保大警部園田安賢

其方儀、第六大區六小區在營中、本所相生町村上幾次郎方へ、強盜押入ル節、邏卒松岡宣勝外二人、捕獲ノタメ馳付ル所、宣勝儀賊ノ拔刀ヲ恐怖シ、其場立退ク所業、如何ニモ不体裁、職掌ハ勿論士道ヲ失ヒ、且邏卒一同ノ鼓舞モ不相立、一圖ニ思ヒ込、同僚中村正戸、山長祥等ヘ申聞、説諭致サセ、遂ニ宣勝割腹致ス次第ニ立至ル段、右科威逼致死律ニ依リ、懲役百日ノ所、官吏私罪贖罪例ニ照シ、贖罪金二十圓申付ル

威逼致死

因テ。人ヲ威逼シテ。自死ニ致ス者ハ。杖一百。（其勢逼ラレテ。）若シ官吏公使人等。公務ニ因ルニ非スシテ。平民ヲ威逼シ。因テ自死ニ致ス者モ。罪同。並ニ埋葬金二十五兩ヲ追給ス。

又役人ヤ。御用掛リ又ハ公邊ノ御用ニ任セテ。威勢ヲ差詰メタル事アリテ。或ヒ

仍ホ宣勝埋葬金、割合三圓五十七錢壹厘五毛納ムヘシ、

○福岡縣伺

瘋人ハ、終身鎖錮ニ葬金ノ内、過失傷、醫藥資ニ給シ、折半シテ傷人ニ處シ、埋照シ、折半シテ傷人ハ自殺ナドセシムレバ。罪前件ト同シフナリ。

若シ姦ヲ行ヒ。盜ヲ爲スニ因テ。人ヲ威逼シテ。自死ニ致ス者ハ。姦ノ成否ヲ論セス。財ノ得否ヲ問ハス。並ニ斬。

姦婦ノ劫スタル者アレバ。姦婦ノ威ニ逼ラレテ。盜ミフカ。出來ヌ者モ。財ヲ盜マザル者モ。皆罪ナリ。

斬

瘋癲殺人

凡瘋癲人。人ヲ殺ス者ハ。終

殘ル金ヲ埋葬ニ給ス、

先般相伺、李文ノ通御指令有ル之、然ル所、瘋人一人ヲ殺害シ、二人ニ重疵ヲ負セ、廢疾ナラシメ、三人ニ刃傷スル、依テ追取シ、右輕重傷者二十五圓ヲ追取ルニ、廢疾傷者二十圓與フ、然テ二十圓ツヽ、二名ニ二分與スル、折半シ、十圓ツヽ、外三名ニ一分與スル、ヲ不至、

六年第八月二十九日指揮被下度候也

右

瘋例

瘋者一人ヲ百九十二條ノ例ニ依リ、輕重ヲ查シ、過失傷收贖例圖資ト人ノ家四十圓ヲ追シテ、埋葬ノ外、五人ハ疵傷ノ給付ニ追シテ、死

況ハ處能ハサル分御指揮論ヲ不待、死者ノ家ニ給スル

身鎖錮ニ置クナリ。仍ホ埋葬金二十五兩ヲ追取ルトリ。死者ノ家ニ給付ス。若シ二命以上ヲ。連殺スル者ハ。絞。其親屬。看守嚴ナラシテ。他人ヲ殺死スルニ致スモ。杖九十。セレバ。氣狂ヒナ者ハ。如何樣ニ。不心附ニテ。人命ヲ心附ベキニ仕出シタレバ。ソノ監守スル番人ニ科カ、ルナリ。

若シ瘋癲ヲ假リ。マ子ヲスルナリ人ヲ殺傷スル者ハ。謀故殺

ニ照シテ、別ニ追シ、亦各醫藥ノ資ニ分與スヘシ、但シ瘋人ハ鎖錮終身、

○若松縣伺

忽然瘋癲ヲ發シ、人ヲ傷シ、後數月ヲ經テ、平愈スル者アリ、過失傷條例圖ニ照シ、收贖申付放免可然哉、

七年二月二日指令

○伺

筑摩縣、瘋癲二名以上ヲ傷セシ伺、

七年八月二十五日指令

瘋癲者ハ、例第百八十二條ニ依リ、殺人二名以上ヲ殺スル處ハ、追徵スル贖ノ限ニアラス、但シ收贖金ノ數ヲ出スラス、能ハ困難ニ分ストモ、若シ果シテ貧可キ者ハ、其幾分ヲ贖フ醫藥ノ資ト為サシテ埋葬及ヒ醫藥ノ資ト為ス。

○福岡縣ヘ達書

昨六年八月七日付ヲ以テ、瘋人ヲ殺傷スルノ再伺指令、本律傷人ノ明文無之處、伺文專ラ輕重傷者ヘ醫藥資ノ分配ヲ尋問ニ付、例第百九十二條ヲ以テ指令スト雖モ、事犯前ノ過失殺傷ノ條ヲ以テ、改律前ニ在ルヲ以テ、矢張原十二年二月五日指令ノ伺、

七年十一月五日指令

瘋癲ヲ發シ、親屬鄰佑ノ保證ヲ取リ、放免スヘシ、

○筑摩縣伺

本年六月廿八日付ヲ以テ、瘋癲人ノ鎖錮ヲ終身、

傷謀殺ナレバ。故殺ノ律。ニ依テ之ヲ科ス。

瘋癲殺レ人ヲ條例

第百九十二條 凡瘋癲人。人ヲ殺シ。埋葬金二十五圓ヲ追スル者。改テ。過失殺收贖例ニ照シ。四十圓ヲ追シテ。死者ノ家ニ給付ス。其人ヲ傷スル者ハ。並ニ。過失傷收贖例ニ照シ。追シテ傷者ニ給シ。醫藥ノ資ト為ス。

第百九十三條 凡瘋癲人。二命以上ヲ連殺スル者ハ。絞。改テ。鎖錮終身。

瘋癲人、三人以上ヲ殺傷スル者ハ、二名以上ヲ殺傷スル云々、瘋癲人ト通例ニ依ルト雖モ、一人ハ、一人以上ヲ殺傷スル外、儀不ニ相見、何分ヲ了解致兼ス候條、此段相伺候

七先般年也、十一月五日指令二人以上ノ指令ニ、瘋癲人云々ト有レ之ヲ、然ニ前顯ノ通、

○八、ヲ殺傷ノ三人以上ルモ者ニ、又云々類推スヘシ、

奈良縣伺ノ瘋癲人、子孫ニヲ殺スシ者ハ、限リ親屬鄰佑ノ保證ヲ取ル期ナク其家鎖鋼ス若シ果テ疫愈スレハ可ニ放免ス哉、

八年一月九日指令

第百九十四條　凡瘋癲人。祖父母。父母ヲ殺ス者ハ。鎖鋼終身。

第百九十五條　凡瘋癲人。人ヲ殺ス者ハ。鎖鋼終身ニ處スト雖モ。若シ果シテ。疫愈（氣狂ヒノ氣全快ノ病ヲ）スレハ。親屬鄰佑ノ保證ヲ取リ。懲役五年ニ改正シ。限滿テ放還（役場ヲ鄉里ニ置ク故ニ出ス）ス。

第百九十六條　凡瘋癲人。自殺ヲ致スニ。看守人。失察（見ハ故。番人ニ科ルナリ）スル者ハ。懲役二十日。若シ人ヲ傷スルニ至ラシムル者ハ。懲役四十日。

第百九十七條　凡瘋癲人。人ヲ殺ス者。孤獨（ヒトリモノ）貧困ニシテ。親屬ノ保管（預リ引取ルモノ）スル者ナケレハ。鎖鋼ヲ禁獄ニ換ヘ。

○飾磨縣伺六年七月十三日指令

人命律　本條例

同死ヲ謀リ、傷スト雖モ、人ニ阻救セラレ、未タ死セサル者ハ、鬪毆傷ニ一等ヲ減スルノ例ニ依リ、鬪毆律、刃傷スル者、懲役二年ヨリ一等ヲ減シ、懲役一年半　西村宗八

醉中ニ同死ヲ促カサレ應諾スト雖モ、俱ニ商謀スルニ非ルニ依リ、雜犯律不應為輕ニ擬シ、懲役三十日、法ニ依リ收贖セレム　收贖金七十五錢　玉治

○滋賀縣伺

例第百九十九條ノ犯者ノ輕重ヲ各其傷ノ

姦夫姦婦。同死ヲ商謀スル。姦婦已ニ死シ。姦夫未タ死セス。姦夫已ニ死シ。姦婦未タ死セサル者ハ。並一流三等。

若シ同ク謀リ。（テムナリ押シ諸ト）モニ相談ヲ（ヅクナリ）藥ヲ用ヒテ。墮胎（子ヲ墮ナリ）スル。姦婦。身死（墮胎）リヘハレ置ヲ止テ。禁獄スルナリ。埋葬金ヲ追セス。

謀同死

驗レヲ、罪ヲ定メ、假令ハ姦夫ハ篤疾ニ至リ、姦婦ハ癈疾ニ至リノ類、姦夫ハ人ヲ癈疾ニ致ス律ニ仍リ姦婦ハ人ヲ篤疾ニ致スノ律ニ仍リ、各一等ヲ減シ、科斷スルニ候哉、

七年十月二十八日指令伺ノ通、

藥ヲ用ヒ。其身モ共ニ死スル者。（スル者）姦夫ハ。流三等。

謀同死條例

第百九十八條　凡姦夫。姦婦。同ク謀リ。墮胎スルニ。姦婦。身死スル者。姦夫ハ。流三等。改テ懲役三年。

第百九十九條　凡姦夫。姦婦。同死ヲ謀リ。傷スト雖モ。人ニ阻救（刀物杯ヲ取上ル）セラレ。未タ死セサル者ハ。

尊長。（祖父母ハ。二等ナレトモ。上ニ見ヘタレバ除キ。其外ノ尊長ノ一ナリ。）人ニ殺サレ。私和スル者ハ。徒二年。三等親以下各一等ヲ遞減（科ノ段ヲ一ツ減スナリ。假令ハ三等親ハ。徒一年半。四等親ハ。徒一年ノ類ナリ。）ス。

其卑（尊ニ對スル詞）幼（長ニ對スル詞。其卑幼トハ。殺サレタル家ノ尊長ニ對シテ云フ詞。）人ニ殺サレテ。尊長私和スル者ハ。各等親ニ依テ。卑幼ノ罪ニ。一等ヲ減（二等親ヨリ五等親迄。親疎ニ

鬪毆傷（鬪毆律ノ內。人ニ傷ヲ受ルナリ。）ハ。一等ヲ減メ。（科ノ段ヲ一ツ減ス。）

私和人命

此條ハ。人ノ爲ニ殺サレ。私和シテ。上ニ內訴スヘキ者ニ云フ。

凡祖父母。父母。及ヒ夫。若クハ家長。人ニ殺サレテ。子孫妻妾。及ヒ奴婢。私和スル者（上ノ文ニ見ヘタル子孫等尊長ノ內ノ殺サレタル者ハ。徒三年。二等親ノ濟シタルナリ。）

ヨリテ。罪ヲ一等ヅヽ減シテ。卑幼ノ者ガ。尊長ノ殺サレタル私和セシヨリ。總テ一等ヅヽ減ズルハ。假令バ。二等親ノ卑幼ノ死ヲ私和スレハ。徒一年半ニ坐スルカ如シ。若シ妻妾子孫及ヒ子孫ノ婦。奴婢。人ニ殺サレ。祖父母。父母。夫。家長。私和スル者ハ。杖八十。（祖父母以下。家長ニ近ハ別ナリ。）財ヲ受ル者ハ。並ニ贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シ。重キニ從テ。之ヲ科（私和スル因テ財物ヲ貰ヒ者ノ尊長ニテモ。卑幼ニテモ。贓ヲ計ヘテ。竊盜ノ罪ニ引當テ。竊盜ガ重ケレバ。竊盜律。私和ガ重ケレバ。私和律ニテ科ク。）ナリ。ス。常人（ツネノヒト）。他人ノ爲メニ。人命ヲ私和スル者ハ。杖六十。財ヲ受ル者ハ。贓ニ計ヘ。枉法ニ準シ。重キニ從テ。之ヲ科ス。

私和人命ノ條例

第二百條　凡家長。人ニ殺サレ。雇人（雇人ヲ數テ云ヘ。）私和スル者ハ。懲役百日。若シ雇人。人ニ殺サレ。

○宮城縣死シタル産子ヲ貫請ケ黒燒ニシタル者罪案

六年七月二十二日指令、死生子ノ黒燒妙藥ナルトテ、赤子ヲ貫受ケ、燒テ服用セシトス情形殊ニ殘忍ヒ屬スルニ隅藏勸阻ニ依テ、遂ニ之ヲ中止ス例第二百一條、然ルニ屍ヲ殘毀スル者懲役五年ト云フニ擬シ、

○京都裁判所伺

各懲役五年

小刀ヲ以テ、咽喉ヲ突キ自殺仕損シ、傷ハ些少ニシテ、三四日ヲ經テ、暴疾順愈シ、

秋藏サ

ニ罹リ相果ルモノアリ、其

事由ヲ届出スシテ、埋葬スルハ、仍ホ官ノ檢視ヲ經サルト、云ニヨリ懲役四十日、藏シ、水ニ棄テ、他所ニ移スニ因テナリ。

衣服ヲ盜取スル者ハ。贓ニ計ヘ。

贖罪ス可キ哉、且其檢僧セル哉、將同罪、閏刑ニ處ス可キ哉、

其死スルハ、病ニ罹ルニ因ルヲ以テ、止タ上申檢査ノ疎漏ヲ責メ、並ニ違式輕ノ贖ニ處シ可キ然哉、奉伺候也、

七年一月七日指令

傷ニ依テ死スルニ非ス、他病ニ罹リ死失スルヲ果シテ確實ナレハ、檢視ヲ經スシテ、理葬スト雖モ、罪ヲ科スルノ限ニアラス、

○滋賀縣伺

大分縣ヘ御指令、新條例凡變死ニ係ル屍骸ヲ、官ノ檢驗ヲ經サレハ、私擅ニ埋葬スルヲ許サス、違フ者ハ、笞四十、云々ト相見候、右笞

家長。私和スル者ハ。懲役七十日。

移地界內死屍

我ガ地界ヲ行居ルトキ。他ノ人ノ殺サレ倒ルヲ見タ間ニ。屍ヲ他所ヘ遷リ合ヒ逃レ出シ掛ヲ捌ス時云フ。

凡地界內ニ死屍アルヲ。里長地主鄰佑人官司ニ申報セス。輒ク他所ニ移シ。及ヒ埋藏スル者ハ。杖七十。水中ニ棄ル者ハ。杖一百。因ニ私ニ埋葬ス。水ニ棄テ。他所ニ移スニ因テナリ。衣服ヲ盜取スル者ハ。贓ニ計ヘ。

竊盜ニ準シ。盜ミ取リ衣服等ハ。贓ニ見積リ。竊盜律ニ引當ル。重キニ從テ論ス罪。流三等ニ止ル。何程贓物ガ多ク死罪ニ。ハセヌナリ。

移地界內死屍條例

第二百一條

凡墳塚ノ發掘葬ヲ。棺槨外ヲ。云ヒ。內ノ櫃ヲ。

○伺

七年二月十四日指令

通

考候ヘ共、今少シ判然ナラス、罰文ニ何律ト相認候哉、

四十八、違令重ナラシト相

○伺

凡變死ニ係ル屍、官ノ檢視ヲ經スル者、若シ詐テ病死ノ筋ヲ以テ埋葬スル者ハ、檢視ヲ經ス、私擅ニ埋葬スル者ハ、官ニ告ル者ハ、私擅ニ埋葬スル者ハ、官ニ告ルニ偽テ實ヲ以テセシ、上ハ月日免ヲ與ヘ、日月ヲサル罪ハ首スル者ハ、自首ヲ聞キ、

七年三月二十三日指令

處斷可仕哉、

福島縣伺

凡變死ニ係ル屍ヲ、官ノ檢視ヲ經スシテ、私擅ニ埋葬スル者ハ、病死ト該廳ヘハ、病死ト届置キ、私

八年一月十七日指令

處斷候テ可然哉、

尚ホ例第二百四條ニ依リ、檢視スル可カラサルヲ以テ、

變死人ハ、腐敗復タ

○依

擅ニ

死ノ者ヲ、病死ト届置キ、私埋葬スル者、告上不實ヲ論セス、例第二百四條ニ依テ罪ヲ科ス、

白川縣伺

凡變死ニ係ル屍ハ、官ノ檢視ヲ經ルニ非レハ、私擅ニ埋葬スルヿヲ聽サス、違フ者ハ懲役四十日ト有之、若シ區戸長等、專斷ヲ以テ埋葬差許候節モ、仍ホ此例ニ照シ處分可然哉、但專斷ヲ以テ埋葬セシムルハ、全ク

アリ其犯人、事ノ發露セシヿヲ聞キ、自首スル者ハ、上ハ、告ルニ偽テ實ヲ以テセシ、上ハ月日免ヲ與ヘ、日月ヲサル罪ハ首スル者ハ、腐敗復タ

為ニ移レ出ス為ノミナレハ。懲役百日ノウチ。一等減シテ。九十日ト為ス。

一等ヲ減シ。懲役九十日。

第二百三條　凡子孫ノ死屍ヲ棄ル者ハ。懲役七十日。

第二百四條　凡變死ニ係ル屍ハ。官ノ檢視ヲ經ルヿヲ聽サス。尋常ノ死ニ非レハ。私擅ニ埋葬スル者ハ。懲役三年。屍ヲ殘毀シ。或ハ藥ニスル為。或ハ支解シ。或ハ切リ。アリテ。懲役五年。

第二百二條　凡地界內ニ。死屍アルヲ。輙ク水中ニ棄ル者ハ。雖モ。未タ屍ヲ矢ハ。懲役一年。

ク過誤ニ出テ、追テ自ラ覺
舉シ、其由官廳ニ届出ル、自首ニ係ルヲ以テ、其變死
ノ人、果シテ毆傷ニ係累ナク、自縊自殺シテ、他ニ疑フ
ヘキモノナキハ、首免ヲ與ヘ可然哉相伺候也、
八年三月十七日指令

○伺ノ通、

名東縣伺

依レハ、變死例第二百四條ニ係ル屍ハ、官ノ檢視ヲ經ルヘキモノトス、然ルニ辛未五月廿八日御達（憲法類編第一卷第百二十九ニ見ユ）ニ、自今溺死人見當リ候ハヽ、直ニ人夫相雇、其川岸ヘ引揚置、其段所役人ヘ申出、所役人ヘ假埋致シ、右死體最寄寺院ヘ可届出トアレハ變死ト雖モ、溺死人ニ限リ、官ノ檢視ヲ經ス、所役人ヘ可届出ト、其管轄廳ヘ可届出ト、其管轄廳ヘ申告セサル者ハ、例第二百四條ニ依ル、

役人手許ニテ、直ニ埋瘞候テモ不若哉、
八年三月二十三日指令

埋葬シテ、管轄廳ヘ申告セサル者ハ、例第二百四條ニ依ル、

第二百五條

凡人ヲ押解（附添ヒ送ル者）中途ニ在リテ病斃（病ミ倒レ死スル者）スルヲ。輙ク棄去ル者ハ。移地界内ニ。死屍律ニ。一等ヲ加ヘ。懲役八十日。

第二百六條

凡地界内ニ。及ヒ病ニ因リ棄兒アリ。

キ分ハ。繼テ役人ノ檢視ヲ受クヘキニ。我ガ私ニ葬ル（禁制ナリ。）ヲ違フ者ハ。懲役四十日。

テ昏倒（目マイナドシテ。行キ倒レル。）スルヲ。輙ク他所ニ移ス者ハ。懲役七十日。

同行知有謀害

凡同伴人。他人ヲ謀害セント欲スルヲ知テ。即チ阻當救護セス。及ヒ害セラルヽ

此條ハ。倶樂部道連。或ヒハ旅店ヲ會社ヲ結ヒ者。或ヒハ抔ノ内ニ。人合ヲ謀ミ害セントスル者アルヲ止メトス。或ヒハ申出ヌ科ヲ云フ。

○兵庫裁判所伺

両人手足ヲ以、互ニ鬪毆スル内、甲ノ毆打衝突ニ因テ、乙傍ノ垣墻木石等ニ觸レ、傷ヲナストキ、甲ハ仍ホ瓦石ヲ以テ論シ候哉、若シ無傷ナルモ瓦石ヲ以テ毆ツノ三十日ニ處シ候哉、但鬪毆ノ際、自カラ跌蹶シテ傷ヲナストキハ、止タ手足ノ鬪毆ヲ以科シ

○但七年五月五日指令

白川縣伺

假令ハ亂毆シテ、先後輕重ニヲ知ラサル者、或ハ二人共、同ノ通、

一人ヲ毆チ、其傷同所、或ハ二人同時、各人ノ一目ヲ瞎スル者、本條及ヒ條例正條無之候所、清律彙纂鬪毆條内、分注ニ、如亂毆不知ニ

鬪毆律

此律ハ。毆ト打ト合フヲ云フ。

鬪毆

凡鬪毆。手足ヲ以テ人ヲ毆チ。傷（疵ナリ）ヲ成サヽル者ハ。笞二十。傷ヲ成シ。及ヒ瓦石槌棒等ヲ以テ人ヲ毆チ。傷ヲ成サヽル者ハ。笞三十。傷ノ後。官司ニ首告セサル者ハ。杖九十。

爭ヒ論ヒ手足ヲ以テ相鬪フヲ云フ。毆チ忽チ爭メ相打コト即チナリ。

同行知有謀害條例

第二百七條　凡同行謀害アルヿヲ知テ。阻當救護セスト雖モ。已ニ害セラルヽノ後。首告スル者ハ。其罪ヲ免ス。

其謀殺ヲ知レ阻ムベキ。人ノ出セシ科ヲ免スナリ。

知ラニ。阻ヌ救ヒ當ヌ救ヒ間ニ申セ

先後輕重ヲ者、或ハ二人共ニ打ツ一人ヲ其傷同所、或ハ二人同時各ヲ
瞎ス人ノ一目ヲ拜テ須ハ以テ原謀ヲ為レ首ト従ト為シ、若シ無レハ原謀、以テ先鬪
餘人ヲ為ス首ト有レ之候ニ付、右ヲ援引原謀ヲ首ト為シ、餘人ヲ減シ、若
ハ従ト為シ、一等ヲ減シ、若シ原謀ナケレハ、先鬪人ヲ
以首ト為シ、判決可レ然哉、

七年五月二十三日指令

○伺ノ通、熊谷裁判所伺七年六月九日指令

老父人ヲ追テ其所ニ至レハ、弟能ク程ナ人ノ一指一本指ヲ折リ。一目ヲ剔潰ハサ見ユニ。少ル若
兄人ヲ毆傷セラルヽ、行ハ、骨ヲ破リ。耳鼻ヲ扶毀シ。若
亦毆タル、於レ是忿激禁スル能ハス、毆打シテ死ニ致ス、例ニ起リ火ヲ以テ。人ヲ傷スル
ハス、百十二條云々ニ比擬シ、通シテ二等ヲ減シ、

懲役七年

○鹿兒嶋縣伺

鬪毆殺傷ハ、士族ハ除族ノ

篠原藤作

中ヨリ出テ。及ヒ内損ヲ臓腑ヲ成ス者ハ、笞四十。血目ヲ
タメシテ吐血スル者ハ。杖
八十。

鼻内ニ灌入スル者モ。罪亦
者ハ。杖一百。穢物ヲ以テ口

限ニ無レ之哉、

七年八月五日指令

犯情ニ依テ、閔刑ニ處スルヽモ之レ有ル可シ、一概ニ破廉
恥甚ヲ以テ、論スル限ニアラス、

○三重縣伺

滋賀縣伺、姦罪已ニ官ニ發スルノ後ト雖モ、本夫私和シテ
セシト請ヘハ、之ヲ聽シ可然哉ノ御指令ニ、伺ノ通リ
ト之アリ、然ルハ鬪毆罵詈ノ類ト雖モ、其毆罵セラレ
シ者、私和シテ止ムハ勿論、既ニ官ニ發スル後ト雖モ、
仍ホ處刑宥免ヲ懇願シ、私和セント請フ如キハ、鬪毆罵
詈モ、亦之ヲ聽シ苦シカラサルヤ、

七年十一月廿日指令

毆罵セラレシ者、私和シテ止ム、之ヲ聽ス、既ニ官ニ發ス

同二指二齒以上ヲ折リ。及
ヒ髪ヲ髪抜キ盡スル者ハ。
徒一年。

人ノ肋ヲ折リ。兩目ヲ剔ニ
シ。及ヒ刃傷ヲ加ヘ物ニ負ハ
ス者ハ。徒二年。

人ノ肢體ハ。手足ノ
ヲ折跌骨ヲ。腰ハ。筋ヲ折リ。節ヲ違ハス。項ノ
及ヒ一目ヲ瞎シ。瘡疾ヲ致ス者ハ。徒三年。

兩目ヲ瞎シ。兩肢ヲ折リ。及

ル後ハ、姦事私和ト、同一ニ看做スヘカラス、

○千葉裁判所士族鎮臺兵ニ毆打セラレシ伺

七年十一月二十九日指令

伺ノ趣ハ、千葉縣貫属士族清水政德柿内則忠及ヒ其節右始末捜索致シ候、警察掛ノ者其裁判所ヘ喚出、篤ト取糺シ候上、其申口確乎證據有之、鎮臺於テ取調候兵卒申口ト符合ヲ致候ハ、其段明細書取裁判所ヘ打合可申事、但陸軍裁判所ヘ打合可申候ハ、其段鎮臺ヘ手順ニ至リ陸軍ニ遣置

○白川縣伺

人ヲ傷スル者ハ、其同謀者、手ヲ下タサヽ、人ヲ傷スル者ハ、各手足ヲ以テ毆シテ打ス、鬪毆條ノ正條ナシ、因テ清律彙纂共謀毆傷ノ條ヲ查スルニ、同謀ハ、一等ヲ減スルニ、原謀ハ、一等ヲ減シ、原謀ナレハ、傷重者ニ一等ヲ減シ、原謀ナレハ、傷重者ニ一等ヲ減シ、原謀ナレハ、傷重者ニ一等ヲ減シ、原謀者ハ、曾テ手ヲ下サヽルニ依リ

切迫シテ止マス、意フニ婦ノ髮ヲ斬リ、他ニ嫁スノ念ヲ斷タシメタラハ、彼必ト、我ニ再緣ヲ圖ルヲ可シ、一日小刀ヲ懷ロニシテ婦ノ他ニ婢仕スルヲ認メテ、即チ倉卒ニ面ヲ以テ婦ノ髮ヲ斬リ、小疵ヲ指頭ニ知ラシテ、理直ナルノ後ニ手ヲ下シテ、尊長ニ手向フ者モ減セス。理ナケレハ

○不応為重問所伺、實斷ス、

七年十二月二十二日指令

新治裁判所伺

人ト鬪毆シ因テ財物ヲ竊取シ、又ハ奪去スル者律例正條無之、如何處分可仕ヤ、

但初ヨリ竊奪ニ意アル者及ヒ鬪毆迷ノ末、甲勢力敵セスシテ鬪毆スル者、去ニヨリ、乙竊奪ノ念ヲ起シ、取去スルノ類、右相伺候也、

八年一月九日指令

人ト鬪毆シ、虚ニ乘シ、竊取スル如キハ、竊盜ヲ以テ論ス、公然強奪スル如キハ、强盜ヲ以テ論ス、但シ強盜財物ヲ圖ル意ハ、鬪毆ノ前後ニ拘ラス、

○二重縣伺

本律刃傷ス律例ニ鎌刀莱刀等ヲ用ヒ、傷輕キ者ハ懲役七十日、仍ホ輕キハ三等ヲ減スト、抑綱領ニ刃傷アルノ、刃ト器ヲ專指シ、鎌刀莱刀等ノ兇スル物ハ腰刀鎗等ノ兇器ヲ以テスルモ、其人ノ肋ヲ折リ、兩目ヲ眇ニスルノ等ニ、對比スヘキノ重傷ヲ成スト者ハ、亦タ此ヲ以テ同ク論シ、

去ルニヨリ、乙竊奪ノ念ヲ起シ、取去スルノ類、右相伺候也、

八年一月九日指令

人ト鬪毆シ、虚ニ乘シ、竊取スル如キハ、竊盜ヲ以テ論ス、公然強奪スル如キハ、强盜ヲ以テ論ス、但シ強盜財物ヲ圖ル意ハ、鬪毆ノ前後ニ拘ラス、

○二重縣伺

本律刃傷ス律例ニ鎌刀莱刀等ヲ用ヒ、傷輕キ者ハ懲役七十日、仍ホ輕キハ三等ヲ減スト、抑綱領ニ刃傷アルノ、刃ト器ヲ專指シ、鎌刀莱刀等ノ兇スル物ハ腰刀鎗等ノ兇器ヲ以テスルモ、其人ノ肋ヲ折リ、兩目ヲ眇ニスルノ等ニ、對比スヘキノ重傷ヲ成スト者ハ、亦タ此ヲ以テ同ク論シ、

埋葬金二十五兩ヲ追給ス。

兄姉伯叔ヲ毆ツ者ハ。本律有等ノ親類ヲ打ツ條ニ依リ。

死ニ至ル者ハ。流三等。

第二百八條　凡鬪毆成傷ト稱スルハ。毆ツ所ノ皮膚ニ青赤ニシテ。腫起スル者ヲ謂フ。刀ヲ持シ人ヲ傷スト雖モ。其背柄ヲ以テ毆チ。刀ヲ用ヒサレハ。仍ホ槌棒ト同ク論ス。

第二百九條　凡鬪毆。髮。方

二年ニ擬セシヿ、即チ律例ニ其傷輕キ者ノ特別アルヲ以テ、疑似ナシトセン、然レトモ鬪毆傷ニ於ルヤ、兇器ヲ以テ刃傷スルハ、主論、器ニ在リテ、其傷ノ輕重ヲ論スルノ主旨ナラス、尋常ノ器用ヲ以テ、刃傷スルハ、主論、傷ノ輕重ニ在リテ、其器用ヲ論スルハ主旨ニハ非ル乎、

八年一月二十五日指令

○伺ノ通、山形縣伺本律七頃若シ鬪ニ因テ云々ニ依テ推考スルヤハ有傷以上ニ似アラサレハ、減等ニ似タリ、果シテ然ルヤ、今二人ヲ以テ、互ニ相毆因リ、棍棒等ヲ以テ、鬪ニ因テ傷セサルハ、減等ニ似タリ、果シテ然者、理曲ナル者ヲシテ理直ナル者ヲ毆傷スレハ、有傷

サレハ、勿論減等ス、

第二條　已ニ發覺シ、糾問中ノ者ハ、放免セス、

○福島縣伺

鬬毆律瓦石槍捧等ヲ以テ人ヲ毆チ傷ヲ成ス者ハ、笞四十、其成傷ハ第二百八條ニテ、明了ニ候處、疵一寸以上、深サ二三分以上ニシテ、出血甚シキ者ハ、血耳目中ヨリ出テ、及ト内損シテ吐血スル者ハ、杖八十トアルニ比擬シ、處斷致シ可レ然哉、

八年二月三日指令

本文ノ如キハ、成傷ヲ以テ論シ、懲役四十日、

○埼玉裁判所伺

今茲ニ瘋癲人鎌刀ヲ以テ、人ヲ傷スル者アリ、例第百九十二條、及ト過失殺傷人律ニ照依シ、其罪ヲ鬬毆傷人一準擬スルニ、第二百十四條ノ第二項、開載無レ之ト雖モ、仍ホ一十日ニ、金五十錢ノ數ヲ以テ計算シ、収贖セシメ可レ然哉、

但本文犯者ハ、全癒マテ、親族ヘ付シ、鎖錮セシメ可レ然哉、

八年三月十日指令

條但書共伺ノ通、

○茨城裁判所伺

鬬毆、弓箭銃砲ヲ放チ、人ヲ傷スル者アル時ハ、其傷ノ輕重ニ拘ハラス、刃傷ヲ以テ論スヘキ筈ニテ然ルニ、過失傷モ亦過失殺傷例ニ依リ、刃傷スル者ヲ以テ論シ、収贖金ヲ追シテ傷者ニ給シ候テ可レ然哉、

八年四月五日指令

但シ傷輕キ者ハ、情條、懲役七十日ニ該ル、依テ之ヲ収贖セシムルノ法、例圖中其項、開載無レ之ト雖モ、仍ホ一十日ニ、金五十錢ノ數ヲ以テ計算シ、収贖セシ可レ然哉、

但本文犯者ハ、全癒マテ、親族ヘ付シ、鎖錮セシメ可レ然哉、

第二百十一條　凡婦女ヲ毆チ。墮胎セシムル者ハ。懲役二年。

打毆キタルニ付。孕メル子ガ墮リラ死スレバ。其打タル者ハ。二年懲役スルナリ。

第二百十二條　凡鬬毆。人ヲ殺スニ。後ニ手ヲ下シテ。理直ナル者ハ。律ニ照シテ。懲役十年ニ科シ。仍ホ事情原諒ス可キ（懲役十年）者ナリ。一等下ルナリ。

第二百十三條　凡鬬毆。後ニ手ヲ下シテ。理直ナル者ハ。減等（癒疾ニシテモ。篤疾ニシテモ。）。死ニ致テモ。當然ノ科ヨリ。減ズルナリ。（科）シテ罪ヲ科シ。仍ホ。養贍（養生料）。埋葬金兩ヲ追給スル律ヲ改メ。止タ其罪ヲ科シ。金圓ヲ追セス。

第二百十四條　凡鬬毆。人ヲ割付ル上ニ。事柄原諒ス可キアレバナリ。

狀ヲ酌量シテ減等ス可シ、

○佐賀裁判所伺八年四月二十八日指令

婦女ノ闘殴ハ、刃傷ト雖モ、収贖ヲ聽ス、但書鎌刀菜刀傷ノ区別トク、本文ノ通心得可シ、

○滋賀縣伺

宮殿内忿争スル者、律ニ正條有之候ヘ共、省察府縣ノ廳内ニテ、忿争スルノ正條無之、今茲ニ中教院内ニテ相殴ッ者アリ、律ニ正條無之ニ付、凡殴ヲ以テ論シ可然哉、

八年三月二十八日指令

伺ノ通、但シ官吏セレハ、官吏ヲ殴ッ律ニ依ル、

以テ相向フ者ハ。流一等。

宮殿内忿争條例

第二百十五條　凡皇城門ニ。擅入（御用モナキニ。妄リニ入ルナリ。）スル者ハ。懲役五十日。宮殿ニ擅入スル者ハ。懲役百日

官中ニ。自儘ニ入ル者ハ。百日ノ懲役ナリ。入テ後チ何事ヲ仕出セバ。又別ノ箇條アリ。此ハ但タ入ル斗リノ科ナリ。

殴本屬長官ヲ傷スルニ。鎌刀。菜刀等ヲ用ヒ。傷輕キ者ハ。懲役七十日。仍ホ輕キ者ハ。三等ヲ減ス。

宮殿内忿争

此條ハ。皇居内ニ。憤リ争フヲ云フ。

凡宮殿内ニ於テ。忿争スル者ハ。笞五十。相殴ッ者ハ。杖一百。折傷以上ハ。凡闘傷（常尋ノ打合ニテ。瘡ヲ負ハス捉。）ニ。二等ヲ加フ。罪。流三等ニ止ル。刀（抜刀）ヲ

凡吏卒軍民本屬ノ勅任長官ヲ毆ツ者ハ。流一等。傷スル者ハ。流三等。折傷以上ハ。絞。其長官ニ非ル。勅任官ヲ毆ツ者ハ。徒二年半。傷スル者ハ。流一等。折傷以上ハ。流三等癈疾ハ。絞。

若シ奏任長官ヲ毆ツ者ハ。徒二年。傷スル者ハ。徒三年。折傷以上ハ。流二等。癈疾ハ。絞。其長官ニ非ル。奏任官ヲ

毆ツ者ハ。徒一年。傷スル者ハ。徒二年。折傷以上ハ。流一等。癈疾ハ。流二等。篤疾ハ。絞。若シ判任長官ヲ毆ツ者ハ。杖九十。傷スル者ハ。徒一年。折傷以上ハ。徒三年。癈疾ハ。流一等。篤疾ハ。絞。死ニ至ル者ハ。並ニ斬。

其本屬ニ非ル者ハ。各二等ヲ減ス。減シテ。罪。凡鬪ヨリ輕ク。若クハ等シキ者ハ。凡

○長野縣伺

例第二百三十七條、凡平民云々トアリ、其邏卒ヲ毆ツキ凡鬪ヲ以テ論スルカ、手足ヲ以テ人ヲ毆チ、傷ヲ成サヾルヲ者ハ、笞二十ナレハ、罵ルノ罪、毆ツノ罪ヨリ重シ、此權衡如何、指令

七年三月十九日

平民本屬ノ戶長ヲ毆ツ者ハ、凡鬪毆ハ一等ヲ加ヘ、邏卒ヲ毆ツ者ハ、凡鬪傷ヲ以テ論ス、折傷以上ハ、福岡縣ヘ達書、

○八年三月九日付

昨明治七年七月三十一日付ノ以テ、平民邏卒番人ヲ毆ツ者ハ、凡鬪傷ヲ以テ論ス、

伺出ニ、本籍ヲ以テ因テ左ニ記載ノ通リ、改定候條、

儀、伺出ニ、本籍ヲ以テ因テ左ニ記載ノ通リ、改定候條、

及指令置候處、再議ニテ論ス、

此段更ニ及御達候也、

邏卒番人ヲ毆ツ者ハ、凡人ニ二等ヲ加フ、折傷以上ハ凡鬪毆ヲ以テ論ス、

鬪ニ一等ヲ加ヘ。加ヘテ死ニ入ル。

毆官吏律

原毆本屬長官律

第二百十六條　凡勅任官ヲ毆ツ者ハ。懲役五年。傷スル者ハ。懲役十年。折傷以上ハ。絞。若シ奏任官ヲ毆ツ者ハ。懲役二年。傷スル者ハ。懲役三年。折傷已上ハ。懲役七年。癈疾ハ。絞。若シ判任官ヲ毆ツ者ハ。懲役九十日。傷スル者ハ。懲役一年。折傷以上ハ。懲役三年。癈疾ハ。懲役五年。篤疾ハ。絞。死ニ至ル者ハ。並ニ斬。（勅任ニテモ奏任ニテモ同シ斬罪ト云フコトナリ）

毆官吏條例

第二百十七條　凡判任官。勅任官ヲ毆ツ者ハ。懲役九十日。傷スル者ハ懲役

一年半。折傷以上ハ。懲役五年。廢疾ハ。絞。若シ奏任官ヲ毆ツ者ハ。懲役七十日。傷スル者ハ。懲役百日。折傷以上ハ。懲役三年。廢疾ハ。懲役十年。篤疾ハ。絞死ニ至ル者ハ。並ニ。斬

第二百十八條　凡奏任官。勅任官ヲ毆ツ者ハ判任官。奏任官ヲ毆ット。罪同シ。其勅任官。奏任官ヲ毆ヒ。及ヒ奏任官。判任官ヲ毆ツ者ハ。並ニ。凡鬪毆ヲ以テ論ス。（勅任モ。奏任モ。並ニ凡人ノ鬪毆律ニ。當テ科ヲ定ム。）

拒毆官司差人

此條ハ。官ヨリ遣スル人ニ手向ヒ。又ハ打擲スルヲ云フ。

凡官司。人ヲ所屬ニ差遣レ。（夫々ノ支配役所ヨリ。支配下ヘ差遣ク。）錢粮ヲ追徵シ。（年貢運上ヲ取立ル事ニ）勾攝スルニ。抗拒シテ。服セ

○大分縣伺

文武技藝受業師ノ教戒ノ為ニ督責スルニアラスシテ其弟子ヲ毆チ及其財ヲ盜ミ又ハ謀故殺ヲ為ス者ハ其師ヲ毆及謀故殺ヲ為スノ者ハ凡人ヲ以テ論シ弟子ノ其師ヲ毆傷スル者ハ凡人ニ二等ヲ加ヘ死ニ致ス者凡人各律ニ依可然儀ニ候哉、

サル者ハ。假令ハ。申渡シ（ニ從ハヌナリ。）杖六十。毆ル者（其遣シタル者ヲ毆ナリ。）ハ。杖八十。内損己上（臓腑ヲ疾セ血ヲ吐スル等。）ハ。各凡鬪傷ニ。二等ヲ加ヘ。罪流三等ニ止ル。死ニ至ル者ハ。斬。

毆受業師

此條ハ。師匠ヲ打ツヲ云フ。

凡文武百工技藝ノ人。（文事武事。）受業師其他百工ノ技藝ニ付キ。學ブ修業人。師匠ヲ毆ツ者ハ。凡鬪傷（間柄ノ）

七年十二月二十七日指令毆受業師ノ、其弟子ヲ非理ニ打シ、及ヒ謀故殺ハ、凡人ヲ以テ論シ、財物ヲ盜メハ、弟子ノ其師ノ財物ヲ盜ムト罪同シ、弟子ノ其師ヲ毆傷スル者ハ、本律ニ依ル、謀故殺ハ、凡人ト同シク論ス、

○人坂裁判所伺

若シ授業師ノ、從弟ヲ罵詈殺傷シ、或ハ徒弟ノ財物ヲ盜ム者等ハ、如何處シ可然哉、

八年一月二十八日指令

授業師、其弟子ヲ罵ル者ハ、論スルヿ勿レ、但シ弟子教令ニ違犯スルニ因リ、毆責シテ殺傷スル者ハ、口書ヲ以テ伺出ヘシ、

（ナキ。尋常ノ打合ヲ云フ。）ニ二等ヲ加ヘ。罪流三等ニ止ル。死ニ至ル者ハ。斬。

毆受業師條例

第二百十九條　凡受業師ヲ毆テ。死ニ至ル者ハ。斬。改テ。懲役終身。

謀殺ニテモ。故殺ニテモナク。一時ノ心得違ヒタヤウニ。思ヒ。打毆キタル。急所等ニ。當リ。竟ニ死セシム者ハ。科ナリ。

○愛知縣伺 兼テ亡父兵太郎始一家ノ者共、大野村相馬龍海妻喜々舞ノヨリ神卸ニ事寄セ種喜ノ手段ニテ金衣等被欺取候事有之、當一月十二日末始喜舞ヲ私宅ニ招キ、其鷄足勝共相尋候ヲ同村齊年寺玉底ノ所ニテ養ハル亡父弟共毒殺ト云フ狐ニテ、默ス底ノ謀リ毒殺節モ、默シ底ト申合、默立、憤ル不快ニ害セ伊吉申ヲ縛シ、物ヲ抓ミ、手ニ荒テ拳底憤ル藥ニ堪ヘテノ弟ヲ兩人ヲ呼来リシ、或ハ白刃ヲ不致ニ同様ニ打擲ヨリ蹴落シ、相付ニ責ル問候三日ヘ共、十四日ニ及ヒ私家ニ於テ人ヲ制縛ス。

威力制縛

凡威力ヲ以テ人ヲ制縛スルハ、打擲監禁ス、打擲ヲ加ヘ、二等ニ止ル。死ニ致シ、傷ニ致ス者ハ。並ニ指使人ヲ以テ首ト爲シ。下手ノ人ハ。從ト爲シテ論シ。一等ヲ減ス。

六年七月三十日指令

制縛拷打ハ、皆官府ノ事ナリ、然ルニ豪強人威力ヲ以テ擅ニ之ヲ行ヒ、民ヲ害スルヲ憎ム故ニ傷ノ有無ヲ問ハス、杖一百今該犯ノ如キハ曾テ父弟ノ死スルハ、他ノ毒殺ニ係ルト聞キ、其實ヲ得ント欲シテ、官司ニ陳告セス、綱縛拷打スト雖モ、其父弟ノ仇ト視テ、一時孝義切迫ノ情ニ出ルヲ以テ、贖ヲ聽ス、雜犯律不應為ノ輕ニ凝シ、懲役三十日、

贖罪金二圓廿五錢

上從一等ヲ減シ、中野新吉

贖罪金一圓五十錢　中野伊吉

○大分縣伺
戸籍届未濟雇人、又ハ職業ノ為メ、無税ニテ使用スル者、毆雇主ヲ又ハ罵雇主ヲ片ハ、右ノ權衡ニヨリ、届不届ヲ論セズ、家長ヲ毆罵スル律ニ科シ、雇主ハ僕婢罰則、及ヒ違式ニ區處仕可然哉、
八年一月九日指令

○伺
磐前縣伺
磐城國行方郡小島田村石井市三郎儀、別紙罪案之條ノ通ニ付、鬬毆律毆傷妻妾條ニ依リ、妻ト見做シ候ヘハ、懲役終身、妾ト見做セハ、五年、又雇人ト見做候得ハ、懲役十年ニ相當リ、決シ兼候ニ付テハ、輕キニ依リ、妾ヲ以テ論シ可然哉、
八年二月二日指令

例第二百二十一條、雇人家長ヲ毆ツ者ハ。

毆家長ヲ

此條ハ。己ヲ召使フ。主人ヲ打ヲ云。

凡奴婢。家長ヲ毆ツ者ハ。皆流一等。傷スル者ハ。皆流三等。折傷スル者ハ。皆絞。死ニ至ル者ハ。皆斬。過失(取違ヘ)。手過ナ。殺スル者ハ。流三等。徒流並ニ收贖スルヿヲ聽サス。何レモ金ハ聞届ケヌナリ。贖ハ。仕置メ。若シ雇人。家長ヲ毆ツ者ハ。

ノ教令ニ違犯スルニ、督責シテ邂逅ニ死ニ致スニ擬シ、懲役七十日　石井市三郎誠犯ノケサヲ容ル、初メ洗濯手傳ト云ヲ以テ後ニ妻ト成スノ念慮アリト雖モ、未タ公然其儀ヲ成スニ非ルヲ以テ、本議ノ如シ、

徒二年。傷スル者ハ。徒三年。折傷スル者ハ。流三等。篤疾ニ至ル者ハ。絞。死ニ至ル者ハ。斬。過失殺傷スル者ハ。各常律(過失殺傷律ノヿナリ)ニ依テ。收贖スルヿヲ聽ス。若シ奴婢。雇人。家長ノ教令ニ違犯(背差図)スル。督責叱リ正シテ。邂逅(コウ)ニ死ニ致ス者ハ。笞五十。過失殺スル者ハ。各論スルヿ勿レ。(此條ハ。家

長奴婢ヤ。雇人ヲ毆ツ。ノ次第ヲ云フナリ。

毆家長條例

第二百二十條　凡雇人。家長ヲ毆チ。篤疾。及ヒ死ニ至ル者ハ。絞斬ニ處スル律ヲ改メ。俱ニ懲役終身。

第二百二十一條　凡雇人。家長ノ教令ニ違犯スル。ニ。督責シテ。邂逅ニ。死ニ致ス者ハ。笞五十。改テ。懲役七十日。

○滋賀縣伺

妻、夫ヲ毆チ、夫、妻ヲ毆チ、折傷已上ニ至ル者、及ヒ子孫違教等ノ、親ラ告ルヲ待テ坐スル者、其已ニ告ルノ後、親屬ノ至情坐視スルニ忍ヒス、罪ヲ免サンコヲ請フ、已ニ刑名宣告ノ後ナレハ、其請ヲ聽サス、未タ處刑セサル內ナレハ、其儘放免シテ可レ然哉、

七年七月九日指令

兩項共、親屬ヨリ情願スルモ、其罪ヲ聽サス、

○熊谷裁判所伺罪案節錄

妻ウタ性質邪險常々喧嘩口論ニ及ヒ云々、某月口ニ任セテ罵リ剩ヘ拳ヲ以テ私頭上ヲ打擲セシニ付、聊成サン為ニ小刀ヲ以テ少ク瘡負ハセシ處殺セタ〻ト相逼リシ故平生ノ憤怒

毆夫

此條ハ。夫ヲ打ツヲ云。

凡妻。夫ヲ毆ツ者ハ。杖一百。折傷以上ハ。凡鬪傷ニ。三等ヲ加フ夫ノ親ラ告ルヲ待テ。乃坐ス（夫ヨリ訴ヘタル上ニテ罪シ。夫訴ヘザレハ。捨置クナリ）篤疾ニ至ル者ハ。絞。死ニ至ル者ハ。斬。故殺（出來心ニテ殺ス）スル者ハ。梟。若シ妾。夫及ヒ正妻（本妻）ヲ毆ツ者ハ。妻。夫ヲ毆ツ罪ニ。各

一時ニ發シ忽然殺意ヲ起シ遂ニ突殺セリ、

七年一月三十一日指令

該犯ノ妻ヲ殺害スルヤ、供狀レニハ忽然殺意ヲ生スルノ文アリ、故殺ニ相當スト雖モ、妻ハ夫ノ教令ニ違犯シ、罵詈愚拳ヲ弄シ、屬ヲ以テ、夫ノ頭上ヲ毆チ仍ホ暴ヲ恣ニスルヲ有リ、其悖慢無礼、自ラ威ヲ取ルモノ過ク、故ニ其情狀ヲ酌量シ、例二百十二條、闘毆人ヲ殺スニ、後チ手ヲ下シ、理直ナル者ヲ以テ論シ、役十年以上ナルヲ以テ、懲役終身ト收贖金三十圓ノ例百八十三條、毆ツ者ハ三年ニ懲役十年、罵ル者ハ百日ノ罪ニ

荻原清三郎

本議ヲ盡ス、以テ之ニ比照シ難シ、故ニ

一等ヲ加ヘ。加ヘテ死ニ入ル。〔加等スル科ハ。死罪ニセヌ擬ナレド。是ハ死罪ニスル者ハ。梟。死ニ至ル者ハ。斬。故殺スル者ハ。絞。〕

毆夫條例

第二百二十二條　凡妻妾。夫ヲ毆テ。廢篤疾ニ至ル者ハ。絞ニ入ル、律ヲ改メ。俱ニ。懲役終身。妾ノ正妻ヲ毆ツ者モ。亦同シ。

○塚縣伺

當縣士族某、夫ヲ罵リ、夫ヲ毆ツノ妻、刃ヲ以テ迫ルヲ救防シ、誤テ之ヲ刺シ、避逃ニ死ニ致ス科、如何、

六年九月十四日指令

本條若シ妻妾ヲ毆傷スルハ、夫、妻ヲ毆傷スルト罪同云々、過失殺スル者ハ各論スルヿ勿レト云ヲ以テ擬シ、

掠原政道

無罪

○福岡縣伺

夫、妻妾ヲ待ツニ不道ヲ以テ凌虐毆傷スル者、妻妾親告セストモ、捕亡番人等、其場ニ臨ミ目擊報告スルハ、假令其場折傷以上ニ非ルモ凌虐ノ罪ヲ科シ可レ然哉、

毆傷妻妾

レモ。改テ懲役終身トスルナリ。妾ノ本妻ヲ毆テ。篤疾ニスル者モ。同シ科ナリ。

此條ハ。夫ノ妻妾ヲ打チ。疵ヲ負ハスル等ノヿヲ云。

凡夫。妻ヲ毆ツハ。折傷ニ非ルハ。論スルヿ勿レ。〔外メナリ〕

折傷以上ハ。凡人〔他人同志、打ツ罪〕ニ。二等ヲ減ス。妻ノ自ラ告ルヲ待テ。乃坐ス。死ニ至ル者ハ。絞。故殺スル者モ。罪同

七年五月二十日指令
本律ノ即チ凌虐妻妾ノ律ナレハ、折傷以上ニ非ルハ勿論
若シ捕亡番人等、其場ニ立入タルトキハ、止タ鎮静教戒シテ
閣クヘシ、

○同縣前件ノ再伺

夫ノ妻妾ヲ待ツ、無道ニシテ、凌虐毆傷スル者、處置方ノ儀、當五月廿日御指令有之候、然ルニ本年大坂裁判所伺、盲人ニシテ、道路ノ風聞ヲ信シ、妻ヲ毆傷スル者、御指令ニ、妻ノ親告ニ非サルヲ以テ、毆傷ハ論セスト雖モ、猥ニ行路ノ流言ヲ信シ、妻ヲ凌虐スルノ罪、不問ニ置ヘカラス、情ヲ量リ、不聽ヲ收贖已ニ應為輕重ニ問ヒ、折傷ヲ有之、右ハ其傷ヲ可有之乎ナレトモ、上ニテ論セスト有リ、素ヨリ毆傷ハ

妾ヲ毆ツニ。折傷以上ハ。妻ヲ毆傷スルニ。二等ヲ減ス。死ニ至ル者ハ。流一等。

若シ妻。妾ヲ毆傷スルハ。夫妻ヲ毆傷スルト。罪同。妾ノ親ヲ告ルヲ待テ。乃坐ス。過失殺スル者ハ。各夫ノ妻妾ヲ過失殺スルト。妻ノ妾ヲ過失殺スルトナリ。論スルヿ勿レ。

若シ夫。妻ノ父母ヲ毆ツ者ハ。杖九十。折傷以上ハ。各凡

之上ハ、傷ノ輕重ニ據リ、罪ヲ科セラル、ニハ有之間敷、左スレハ御指令前後矛盾ノ疑ヒ無キ不能、仍テ尚又此段相伺候也、

七年六月二十四日指令

本律、夫、妻ヲ毆チ、折傷以上ニ非レハ、論スル勿レ、折傷以上ハ云々、妻ノ親告ヲ待テ乃坐スト云フハ、凡ソ夫婦ノ家ヲ保ツ、或ハ夫ノ下急、或ハ婦ノ長舌等、閨門ノ爭ヒヲ起スハ、他人ノ叨ニ告許スヘキ者ニ非ス、故ニ妻ノ親告ヲ待テ乃坐スト云フ、大坂裁判所伺、盲人ノ其妻ヲ毆傷スル如キハ、尋常夫婦ノ爭ヒヲ以テ論シ難シ、故ニ情ヲ量リ、不應為輕重ニ問ヒ、收贖ヲ聽スト指令ス、

鬪傷ニ一等ヲ加ヘ。篤疾ハ。絞。死ニ至ル者ハ。斬。故殺スル者モ。罪同。

毆傷妻妾條例

第二百二十三條　凡夫。妻ヲ毆チ。死ニ至ル者ハ。絞。改テ懲役終身。其故殺スル者ハ。絞。若シ夫。妻ノ父母ヲ毆チ篤疾及ヒ死ニ至ル者ハ。絞斬ニ處スル律ヲ改メ。懲役終身。其故

○小田縣伺
五等親中卑幼尊長ヲ毆ツ
ニシテ類、假令ハ四等親ノ曾孫ノ高祖父母ヲ毆ツ
如キノ罪モ、再從弟妹ニシテ、僅ニ年長ノ再從兄姉ヲ毆ツ如キノ罪モ、鈞シク卑幼尊長ヲ毆ツヲ以テ論シ、更ニ權衡區別無之哉、

七年一月十五日指令

○高祖父母ハ、等親中四等親圖ニ揭ル高祖父母ト雖モ、人命鬪毆等、玄孫ノ犯罪ニ對セシ例ハ、祖父母ト同ク論スヲ可シ、則第八十一條ニ詳ナリ、其再從兄姉ヲ毆ツハ、伺ノ通、四等親ノ尊長ヲ毆ツ

○本滋賀縣伺ヲ以テ論ス

本條中、五等親尊長ノ儀ハ、殺スル者ハ。斬。

毆三等親以下尊長

凡卑幼。三等親ノ尊長ヲ毆ツ者ハ。徒一年。四等親ノ尊長ハ。杖一百。折傷以上ハ。凡鬪傷ニ一等ヲ遞加ス。（他人ヨリ増ス）篤疾ハ。絞。死ニ至ル者ハ。斬。故殺スル者モ。罪同シ。若シ尊長。卑幼ヲ毆ツハ。折傷ニ非ルハ。論スルヿ勿レ。折傷以上ハ五等親ノ卑幼ハ。凡人ニ一等ヲ減シ。四等三等親ハ。各一等ヲ遞減ス。死ニ至ル者ハ。絞。故殺スル者モ。罪同。

（跡ノ殘ル程ノ傷ナラネバ。公メナシ。折傷。癒疾。篤疾ニスレバ。五等親ノ卑幼ヲ毆テハ。他人ヨリ。一段科ヲ輕クシ。四等三等ニ一段ヲ減ス。段カ一段ダ、順グリト。）

第二百二十四條　凡卑幼。

毆三等親以下尊長條

例

○白川縣伺
凡人鬪毆、後ニ手ヲ下シテ理直ナル者ハ、本條第七項、若シ鬪ニ因テ云々、後ニ手ヲ下シテ理直ナル者ハ、本罪ニ二等ヲ減スト有之、親属鬪毆ニ於テハ、其文ナシ、依テ清律集成、鬪毆律鬪毆條ヲ查スルニ、若因鬪云々、後下手理直者、減本罪二等至死及毆兄姉伯叔（依本律擬定）後下手者不減、且頭書ニ、集註理直雖減、其餘大功以下皆得減也、此兄姉伯叔不減

七年二月十四日指令

伺ノ通、

叔ハ仍指期親尊長、而言、蓋因、倫理所關各依本律不准減等也ト有之、就テハ綱領五等親圖中二等ノ尊長ヲ毆ツ者ハ、概レテ右減等ヲ准サス、將タ又三等親以下ノ卑幼ヲ毆ツハ、他ノ尊屬ト父母ヲ以テ、仍ホ二等ノ准サレ異ナルニ準ジ、減等ス、其餘ハ凡人ト均シク、減尊長ノ祖父母繼父高祖父母外祖父母夫ノ母ヲ毆ツ者ハ、仍ホ情輕減シテ、尤モ事情上ノ尊長ヲ毆ツレト雖モ、但二等親以下、外祖父母以上ノ尊長ヲ毆ツ者ハ、如何可有之哉、此段奉伺候也、儀ト科斷致ス條、法ヲ酌量、其罪ヲ論ノ存候、法用ヲ諒ヘキ者ハ、勿論ヘスヘシ

伺ノ通、八年十月十五日指令

第二百二十五條　凡卑幼。三等親ノ尊長ヲ毆チ。篤疾ハ。絞。改テ。懲役終身。死ニ至ル者ハ。斬。改テ。絞。其故殺スル者ハ。斬。若シ尊長。三等親以下ノ卑幼ヲ毆チ。死ニ至ル者ハ。絞。亦改テ。懲役終身。其故殺スル者ハ。絞。

第二百二十五條　凡卑幼。三等親以下ノ尊長ヲ過失殺傷スル者ハ。並ニ凡

○白川縣伺

罪案節録

弟久平儀生来心得方惡シキヲ以テ、私ハ勿論、親類組長等モ、毎度教諭スレトモ聞入レス、壬申五月野馬ヲ盜シ故、馬ハ元ニ放チ當人ヲ嚴シタ教戒セシ所、尚ホ同十二月烟草ヲ盜取セシ付、烟草ハ事主ニ還シ、而ルニ隣家矢野幸四郎ト、両人ニテ折檻セシ末、私拳ニテ人ヲ過失殺傷ヲ以テ論レ。收贖スルヿヲ聽ス。

三等親以下ノ尊長ヲ過チテ殺レ。過チテ傷ツケレバ。尋常ノ過失殺傷例圖ニ。引合セテ。贖ヒ料ニテ濟スナリ。

毆二等親尊長ヲ

凡弟妹。兄姊ヲ毆ツ者ハ。徒二年。傷スル者ハ。徒二年半。折傷スル者ハ。流二等。廢疾ニ至ル者ハ。流三等。篤疾ニ至ル者ハ。絞。死ニ至ル者ハ。

懲役三年　矢野惣三郎

○京都裁判所伺

祖父母父母、及二等親尊長ヲ、過失殺傷ノ文ハ、律例ニ相見ヘ候ヘ共、誤殺傷スル項、正條ニ無之、右ハ誤殺傷人條、鬪毆シテ誤テ傍人ヲ殺傷スル者ハ、鬪毆傷ニ準シテ論シ、罪流三等ニ止ルト云ニ依リ、祖父母父母ヲ誤殺傷スル者ト雖モ、懲役十年ニ擬斷シテ可然哉

七年三月十七日指令

鬪毆ニ因リ、誤テ祖父母父母傷スル者、懲役十年、殺スハ懲役終身、謀故殺ニ因テ殺スル者、故殺祖父母律ニ依リ、傷ヲ以テ論ス、

○高知縣伺

當縣管下、吾川郡第九區森山村農鶴澤曾内儀、兄鶴澤忠次ト忽然爭論ノ末、劍刀打倒シ縛セシ所、本人自殺セシト申ス故、活レ置カハ、御難題者ニ付、存念通リ殺サン、ト存シ、川鎌鍬ヲ携ヘ、墓所ヘ連行キ、窪ヲ堀リ、右鎌ニテ首ヲ咽ニ懸ケ切リ候所、皮肉僅ニ殘リ、即死セシヲ、窪ニ埋メ、組長ヘハ久平悔悟自殺死果サル故、手傳ヒ死遂サセシト偽リ申出ル、尤其節父久五郎不在ニ付、相談致サス候

六年八月二十日指令

久平ノ犯罪、未タ死ニ至ラス、擅ニ殺死之ヲ父ニ南乏シク、人命ヲ輕視スル血肉ノ情如シ、其情官ニ煩ハシ、祖ヲ辱ムルノ義憤出テ、而其擧久平自ラ死ヲ決スルノ言ニ因原ス、依テ本條、兄姊弟妹ヲ毆殺スル者ハ、皆斬。故殺スル者ハ、皆梟。若シ姪。伯叔父姑ヲ毆ヲ。及ヒ外孫。女嫁シテ生メル子。外祖父母方ノ祖父母ヲ毆ツハ。各一等ヲ加フ。廢疾以上ハ。兄姊ヲ毆ツト。罪同。

其過失殺傷スル者ハ。各本條ヨリ二段ヲ減シテ。分メ申附テ。贖ヒ料ハ聞届ケヌナリ。

若シ兄姊。弟妹ヲ毆殺シ。伯叔父姑。姪ヲ毆殺シ。外祖父母。外孫ヲ毆殺スル者ハ。徒三年。故殺スル者ハ。流二等。過失殺スル者ハ。各論スルヿ勿レ。

毆二等親尊長ノ條例

第二百二十六條　凡卑幼。二等親ノ尊長。及ヒ外祖

殺傷罪ニ。二等ヲ減シ。收贖スルヿヲ聽サス。

兄姊及ビ伯叔父姑。外祖父母ヲモシ過チテ殺シ。過チテ傷ツケタレバ。前ニ見ヘタル毆傷殺ノ科

○大分縣同

祖父母父母ヲ罵ル者ハ、各親カラ告ヲ待テ、坐スト之ヲ下ノ尊長ヲ毆ツ者、罪ニ坐シ一等親以アリ候ヘ共、若シ

スルハ、各親カラ告ヲ待タサル儀ニ候哉、

七年二月五日指令

一等親以下ノ尊長ヲ毆ツ者、親カラ告ヲ待ツノ限ニアラス、

○廣島縣伺

本條凡子孫、祖父母父母ヲ過失殺スル者ハ、懲役三年、傷スル者ハ、懲役一年トアリト雖モ、過失ニテ毆チ、傷

七年二月五日指令

一等親以下ノ尊長ヲ毆ツ者、親カラ告ヲ待ツノ限ニアラス、

○兄仍姉ヲ毆チ、折傷スル者、懲役七年

兄ヲ毆ツ者、折傷ス

鵜澤曾內

七年七月十九日指令

二等親尊長ノ者、條弟妹以上ニ擬シ、

疑念ヲ生シ候間、罪案之畧相添、此段相伺候也、

之、右刑科輕重可有之哉ト

八、僥倖ニテ、事理重大ニ有之、

隣驅集、忠次死ニ至ラサル然白刃ヲ以、打掛候場合、近內ヲ審糺スル為ス區別無之、殺意無之、雖曾內ヲ以傷ヲ為スヲ以、兄ニ傷ヲ為スヲ以、本條ニ擬シ、懲役二年半ニ該ル候處、條中劍刀、或ハ他物

父母ヲ。過失殺傷スル者ハ。各本殺傷罪ニ。二等ヲ減スル律ヲ改メ。殺ス者ハ。懲役二年。傷スル者ハ。懲役百日。並ニ收贖スルヿヲ聽サス。

第二百二十七條　凡弟妹。兄姊ヲ毆チ。篤疾ニ至ル者ハ。絞。改テ。懲役終身。死ニ至ル者ハ。皆斬。改テ。皆絞。若シ姪。伯叔父姑ヲ毆チ。及ヒ外孫。外祖父母ヲ毆チ。篤疾及ヒ死ニ至ル者。罪亦同。

毆祖父母父母ヲ

凡子孫。祖父母父母ヲ毆チ。及ヒ妻妾。夫ノ祖父母父母ヲ毆ツ者（祖父母ノヿナリ。父母ト。）ハ。皆斬。殺ス者ハ。（父ニ死ニ至ルト言ヘシテ。殺スト計フハ。毆殺故殺ヲ込メテ云フナリ。）皆梟。過失殺スル者ハ。徒三年。並ニ收贖

七年八月廿八日指令、不問ニ置ル者ハ、不成サ、ル者ノ刑名、律上ノ成サ、ル者ハ、徒三年。嫡母ノ殺スル者ハ。一等ヲ加ヘ。（嫡母ハ。父ノ本妻ノ云ヘバ。殺サレタル子孫ハ。妾腹ノ子ヲ云フ。加一等ナリ。）繼母ハ。流三等。流一等ナリ。

○傷ヲ成サ、ル者ノ刑名、律上不相見候間、無罪ニテ可然哉、今傷ヲ成ス、成サ、ル、罪ニハ輕重アルハ勿論ナレ共、一ハ懲役一年、一ハ無罪ニ似タリ、權衡其當ヲ得サルハ、如何仕可然哉、

白川縣伺

同縣下八大區五小區坂下村農松平長男佐藤卯平供儀、性質農業ヲ厭ヒ常々私ト相和セス、然ルニ本年父ト九月初旬、南ノ馴滞留中、連戻リメシト申ス女ニ、同人素ヨリ市中生所ノ者ニテ、農事營ミ難キ、長ヨリ、是亦父ノ意ニ適セス、然ル所、持モ無之、公南妻ニモ致シ兼子、再ヒ衣服ノ

聽サス。若シ子孫ヲ故殺スル者ハ。徒三年。嫡母ノ殺スル者ハ。一等ヲ加ヘ。（嫡母ハ。父ノ本妻ノ云ヘバ。殺サレタル子孫ハ。妾腹ノ子ヲ云フ。加一等ナリ。）繼母ハ。流三等。其子孫。祖父母父母ヲ毆罵打擲惡ス。若クハ教令ニ違犯シテ。祖父母父母督責シ。差圖ニヘ。叱背ク。死ニ致シ。嚴レイタサ、ル者ハ。各論及ヒ過失殺スル者ハ。

ノ關ヘ同行シ相稼キ、衣類調達ノ上、歸鄉ノ積ニテ出立ノ節、私妹ノ衣服ヲ借受シケ、ウノニ着用サセ罷越セシ所、稼向キ意ニ任セス、因テ一旦歸宅セシト存シ、同月十日歸路、所々ニテ飲酒シ、大醉ニテ同夜歸宅シ、前借ノ衣類ヲ、其儘質置キ呉レ可ノト、妹ニ頼談スルニ肯ンセサルヨリ、必定父ノ吉意ニ出シト、邪推ノ餘リ、妹ヲ打擲セシ上、塲合父取支シ故、益激怒相加ハリ、傍ノ樫木ノ棒ヲ取リ、父ヲ松平ヲ毆打シ、數ケ所ヘ疵負ハセ候、

七年十二月二十二日指令

例第二百二十八條、父ヲ毆傷スル者、懲役終身

スル勿レ。

毆祖父母父母條例

第二百二十八條　凡子孫祖父母父母ヲ毆チ及ヒ妻妾夫ノ祖父母父母ヲ毆ツ律ヲ改メ毆ツ者ハ。懲役十年。傷スル者ハ。懲役終身。死ニ至ル者ハ。皆梟。過斬。故殺スル者ハ。皆梟。過失殺スル者ハ。懲役三年。傷スル者ハ。懲役一年。並

ニ收贖スルヿヲ聽サス。

第二百二十九條　凡繼母。前妻ノ子ヲ非理ニ毆打シテ。折傷以上ニ。至ル者ハ。凡鬪傷ニ。三等ヲ減シ。死ニ至ル者ハ。懲役七年。

（非理ハワケモナキヿニ。横ヘマヽニ打擲スルナリ。）

第二百三十條　凡子孫。教令ニ違犯スト雖モ。祖父母父母。非理ニ毆殺スル者ハ。懲役二年半。

差圖ニ背ク者ハ。吧唎ヨラシ。打擲スル位マデニ止ムベキニ。無理無体ニ毆キ殺ス者ハ。祖父母父母ニテモ。科カヽルナリ。

妻妾與夫ノ親屬相毆

凡妻妾。夫ノ二等親以下。四等親以上ノ尊長ヲ毆ツ（夫ノ親類ヲ毆ツ）者ハ。夫ノ毆ツト同罪。罪。流三等ニ止ル。死ニ至ル者ハ。各斬。故殺スル者モ。罪同。

若シ妻。夫ノ三等親以下ノ

○鹿兒島縣伺

姦所ニアラス、本夫姦夫ヲ

卑屬ヲ毆傷スルハ。夫ノ毆ソト。罪同。妾ノ犯スハ。凡鬪他人同志ニテ。打チ合ヒヲ以テ論ス。

妻妾與夫親屬相毆條

例

第二百三十一條　凡妻妾。夫ノ二等親以下。四等親以上ノ尊長ヲ毆ナ。死ニ至ル者ハ。各斬。斬罪ニ改テ。絞。其故殺スル者ハ。斬。

父祖被毆

殺死スル者、鬪毆殺ニ一等ヲ減ス、又父母、人ニ殺サレ、登時ニアラス、擅ニ殺スル者、此條ハ。父母祖父母。人ニ打タレ。又殺サレ。子孫。反テ行兇ヲ殺スル時。及ビ。條中。即時ノ二字眼目ナリ。擅殺時刻移レバ。擅殺ニナルナリ。

七年八月五日指令

本律子孫、擅ニ行兇人ヲ殺スル者、謀殺ヲ以テ論スル者、擅殺ヲ以テ論スル者ハ、兼テ御布告モ有レ之通、私義以テ司法ノ公權ヲ犯ス者ニ付、擅殺ノ罪免ル、所ニ非ス、且復讐ヲ防ンカ為、特別ニ設ルノ名トシ、相互ニ搆害スル法典ナリ、殺死姦夫律ニ比較シテ、權衡ヲ論スルヿヲ得ス、

凡祖父母。父母。人ニ毆タレ。子孫。即時ニ救護（祖父母。父母ヲ擁ス。）還ツテ行兇人（祖父母。父母ヲ毆チタル者。）ヲ毆ツハ。折傷ニ非ス。論スルヿ勿レ。折傷以上ハ。凡鬪傷ニ。三等ヲ減ス。死ニ

至ル者ハ。流三等。若シ祖父母。父母。人ニ殺サレ。子孫。擅ニ公ノ例ヲ受ケ自儘ナリ。行兇人ヲ殺ス者ハ。笞五十。其即時(其當)坐ナレバ。官ニ申シ出ル間無ユ。殺死ロ。及ヒ曾テ官ニ告ル(以前)ヲ。仇ヲ打ツヲ。届ケ置タルナリ。者ハ。論スルヿ勿レ。

父祖被毆條例

第二百三十二條 凡祖父母。父母。人ニ殺サレ。子孫。擅ニ行兇人ヲ殺ス者ハ。謀殺(謀ミ殺スナリ)ヲ以テ論ス。其即時ニ殺死スル者ハ。論スルヿ勿レ。

第二百三十三條 凡子孫。祖父母父母ト同謀(相談ナリ)シテ。共ニ人ヲ毆チ。若クハ祖父母父母。人ト忿爭(喧嘩ナリ)シ。子孫ニ指令(指ナリ)シテ毆打セシメ。及ヒ人ト鬪毆スルニ。其子孫。勢

ヲ助ケ（祖父母父母ノ勢ヲスルナリ。加）テ。共ニ毆ツ者ハ。俱ニ常律（闘毆律ノナリ）ニ照シテ。罪ヲ科シ。救護還毆律（子孫時ニ救護メ。還ツテ行兇人ヲ毆ツ律ノ本文ヲ云フ。）ヲ用ヒズ。

皇朝律例彙纂卷四終